

200/01028 A

厚生科学研究研究費補助金

健康科学総合研究事業

健康日本21・歯の健康における健康指標の開発とその評価に関する研究

平成13年度 総括研究報告書

主任研究者 宮武 光吉

平成14年4月10日

目 次

I. 総括研究報告	
健康日本21・歯の健康における健康指標の開発とその評価に関する研究	1
宮武 光吉	
（資料）健康日本21・地方計画「歯の健康」目標リスト	
II. 分担研究報告	
1. 地域歯科保健計画評価指標の開発	25
安井 利一	
2. 開発した地域歯科保健計画指標の適合性の評価	32
尾崎 哲則	
3. 地域歯科保健計画の収集及び項目・内容の分析	36
青山 旬	
III. 研究成果の刊行に関する一覧	46
IV. 研究成果の刊行物・別冊	47

総括研究報告書

健康日本 21・歯の健康における健康指標の開発とその評価に関する研究

分担研究者 宮武 光吉（鶴見大学歯学部客員教授）

研究要旨： 健康日本 21 地方計画を入手し、歯の健康に記載されている目標について分析した。国の項目と地方計画の目標について比較したところ、健康指標については、ほぼ記載されており、現状地域の現状にあわせて目標を設定していると思われた。2) リスク低減目標については、現状把握されていない項目もあり、都道府県での違いが大きかった。3) 地方計画の健康指標は、ライフステージ、種類別に見ても多くの県で記載されていた。4) 方法の異なる 20 歯保有者率を同一自治体のデータで比較したところ、歯の保有数別の歯科受診率を用いて調整できる可能性が示唆された。

分担研究者

安井利一 明海大学歯学部教授

尾崎哲則 日本大学歯学部教授

青山 旬 国立公衆衛生院疫学部主任研究官

A. 目的

健康日本 21 が策定され、都道府県においても地方計画の策定が進んでいる。我々が以前に実施した厚生科学研究において都道府県および市町村における歯科保健事業の実施状況、歯科保健に従事するマンパワーや施設などには格差があった。そこで今回は、都道府県において策定された健康日本 21 地方計画の中で、歯の健康の計画内容や目標設定について調査、分析することを目的とする。

B. 方法

1) 地方計画の収集

都道府県庁の健康日本 21 地方計画策定担当課長宛に、地方計画および歯科保健計画、現状値の評価に用いた調査報告について送付を依頼した。

2) 地方計画・歯の健康における目標の分析

国の健康指標およびリスク低減目標ごとに、地方計画から一致する項目について項目の有無、現状値の把握、目標値などについて抽出し、資料を作成した。

3) 歯科保健計画指標の検討

地域計画の記載内容から、ライフステージ別、目標値の種類別に集計し、都道府県単位での記載数を分析した。

4) 歯科保健計画指標の適合性評価のための検討

健康指標やリスク低減目標のうち、評価指標が都道府県間で異なる可能性がある歯の保有状況について、

同一地域で複数の調査を実施した結果について検討した。

5) 歯科保健に関する既存統計の収集分析

健康日本 21 策定以降で発表された歯科保健に関する統計から、現状値の算出を行い、並びに歯科に関するニーズとダイヤモンドについて検討を行った。

C. 結果

1) 地方計画の収集

年度末までに計画書の印刷ができたものを入手し、すでに在庫の少ない場合は、コピーの他、ホームページから計画書そのもの (pdf ファイル) あるいはホームページ情報を入手した。印刷されていない 2 県をのぞいて、45 県の地方計画が入手できた。ただし、1 県については、15 年までの計画があるため、2010 年目標は設定されていない場合があった。

2) 目標の分析

地方計画にある歯の健康の目標について、すべての項目を入力し、データベースとした。その中から、国の設定目標と同様の目標について分析した。健康指標は、項目により 29~44 県が数値目標を設定していた。リスク低減目標については 15~21 県が数値目標を設定していた。

3) 歯科保健計画指標の検討

地方計画の目標をライフステージ、目標の種類別に集計を行った。乳幼児期、学齢期の記載率がたかかった。成人期、高齢期になるに従い、記載率がやや低くなった。健康指標はすべての都道府県で記載されており、リスク低減目標については 40 県が記載していた。

4) 評価指標の適合性の検討

東京都の調査報告から、東京都歯科疾患実態調査結

果と東京都歯科診療所患者調査の 20 歯保有率を算出し比較した。65 歳以上では患者調査の方が、20 歯保有率が高かった。歯が多いことは、歯科受診の選択バイアスが考えられたことから、保健福祉動向調査から算出した歯の保有数別の過去 1 年歯科診療所受診率を用いて患者調査のデータを調整したところ、実態調査のデータよりやや高いものの、かなり近い値を示した。

5) 既存統計の収集分析

歯科疾患実態調査、保健福祉動向調査（歯科保健）、国民生活基礎調査、社会医療診療行為別調査報告、患者調査から、歯科に関するデータを得、時間的な変化をみた。性・年齢階級別に見ても、う蝕の減少、未処置歯数の減少、補綴を要するものの減少、現在歯数の増加がみられた。有訴者率に比べ通院者率が低く、実態調査でも把握できる未処置歯所有者がいることも示された。全国規模ではこの様な既存情報が使用できる可能性は示されたが、地方計画での使用は困難と考えられた。

D. 考察

健康日本 21 の地方計画は、ほとんどの都道府県において平成 14 年度内に策定されているが、年度末に策定されたものの一部は、計画書の印刷中であった。健康日本 21 の歯の計画は、ライフステージ別に健康指標とリスク低減目標を設定しており、多くの都道府県がこの様な形式を用いていた。一部は各論よりも、ライフステージ毎に詳しく記載するものもあった。

目標別に見たところ、既存資料から現状値を把握可能な、乳幼児期と学童期の健康指標については、現状、目標ともにほとんどの計画に盛り込まれていたが、成人期や高齢期の目標、特にリスク低減目標については、都道府県によって項目数、内容などに格差があった。現状値を把握するための調査資料についても収集をしておき、調査方法や調査予算などを踏まえた分析をおこなう必要があると考える。

乳幼児期と学童期のデータに比べ、成人期や高齢期のデータ収集方法にも、違いがあることから、調査方法の違いによる現状値の比較可能性の検討も 20 歯以上保有者率について行ってみた。患者調査と実態調査の比較可能性を示すことができた。都道府県は、同じ調査を同じ対象に同じ方法で行うことで、健康状態の

変化を把握できると考えら得るが、都道府県間の比較には問題が生じる可能性がある。歯周疾患の評価については、その進め方によりデータの比較ができない場合も考えられ、これらの点についても検討を進める必要があると思われる。

全国調査では、歯科保健のかなりの情報、特に住民側の自覚症状や受診行動のある部分を評価できる資料があったが、地域の情報として利用可能性は低いと思われた。従って、地方計画に伴い実施された歯科保健を含めた調査について、継続的に実施可能な対応を検討しておく必要があると思われる。

E. 結論

都道府県より健康日本 21 地方計画を入手し、歯の健康に記載されている目標について分析した。健康日本 21・歯の健康の項目と地方計画の目標について比較したところ、1) 健康指標については、よく記載されており、現状値も比較できるものが多く、地域の現状にあわせて目標を設定していると思われた。2) リスク低減目標については、現状把握されていない項目もあり、都道府県での違いが大きかった。3) 地方計画の健康指標は、ライフステージ、種類別に見ても多くの県で記載されていた。4) 方法の異なる 20 歯保有者率を同一自治体のデータで比較したところ、歯の保有数別の歯科受診率を用いて調整できる可能性が示唆された。

F. 健康危険情報

なし

G. 発表

1. 論文発表

青山 旬、宮武光吉. 21 世紀の歯科保健医療制度—平成 11 年歯科疾患実態調査報告等から—。日本歯科医学会誌：21；29-38, 2002.

2. 学会発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

(資料)

健康日本21地方計画「歯の健康」目標リスト(1/22)

都道府県	コード	目標	現状	目標値	データ	ライフステージ	目標・リスク低減	国目標の有無	歯の喪失防止	喫煙	間食回数	フッ化物洗口
北海道	1	むし歯のない3歳児の割合	57%	80%以上		乳幼児期	健康指標	1				
	1	3歳までにフッ化物塗布を3回以上受ける幼児の割合	32.4%	40%		乳幼児期	リスク低減	1				
	1	間食として甘味食品・飲料を1日3回以上飲食する習慣を持つ幼児(1歳6ヶ月児)の場合	38.1%	38.1%以下		乳幼児期	リスク低減	1			1	
	1	12歳児のむし歯数	3.1歯	1歯以下		学齢期	健康指標	1				
	1	フッ化物配合歯磨剤を使用する人の割合	54.9%	90%以上		学齢期	リスク低減	1				
	1	歯口清掃(歯磨き)の指導を個別に受ける人の割合	29.5%	40%以上		学齢期	リスク低減	1				
	1	30歳以上で歯や口腔に関して悩みがある人の割合	37.3%	37.3%以下		成人期	健康指標					
	1	進行した歯周炎に罹患している者(4mm以上の歯周ポケットを有する者)の割合 35~44歳	39.8%	30%以下		成人期	健康指標	1				
	1	進行した歯周炎に罹患している者(4mm以上の歯周ポケットを有する者)の割合 45~54歳	46.0%	35%以下		成人期	健康指標	1				
	1	デンタルフロス、歯間ブラシ(歯と歯の間を清掃する補助用具)を使用する人の割合 35~44歳	19.0%	50%以上		成人期	リスク低減	1				
	1	デンタルフロス、歯間ブラシ(歯と歯の間を清掃する補助用具)を使用する人の割合 45~54歳	16.7%	51%以上		成人期	リスク低減	1				
	1	1日2回以上歯を磨く人の割合	56.0%	80%以上		成人期	リスク低減					
	1	80歳における20歯以上の自分の歯を有する者の割合 75~84歳で20歯以上	3.3%	20%以上		成人期	健康指標	1	1			
	1	60歳における24歯以上の自分の歯を有する者の割合 55~64歳で24歯以上	33.5%	50%以上		高齢期	健康指標	1	1			
	1	歯科健診を定期的に受診する人(55~64歳)の割合	10.4%	30%以上		成人期	リスク低減	1	1			
青森	2	虫歯のない幼児の割合(1.5歳児)	92.6%	96%以上		乳幼児期	健康指標					
	2	虫歯のない幼児の割合(3歳児)	42.80%	70%以上		乳幼児期	健康指標	1				
	2	1人当たりの虫歯数(1.5歳児)	0.24歯	0.12歯以下		乳幼児期	健康指標					
	2	1人当たりの虫歯数(3歳児)	2.98歯	1.8歯以下		乳幼児期	健康指標					
	2	虫歯のない児童生徒の割合 小学生	14.96%	30%以上		学齢期	健康指標					
	2	虫歯のない児童生徒の割合 中学生	17.24%	30%以上		学齢期	健康指標					
	2	虫歯のない児童生徒の割合 高校生	10.89%	20%以上		学齢期	健康指標					
	2	歯肉の経過観察及び治療を要する児童生徒の割合	調査予定			学齢期	健康指標					
	2	進行した歯周炎を有する人の割合(35~44歳)	36.36%	25%以下		成人期	健康指標	1				
	2	進行した歯周炎を有する人の割合(45~54歳)	45.45%	31%以下		成人期	健康指標	1				
	2	進行した歯周炎を有する人の割合(55~64歳)	52.78%	36%以下		成人期	健康指標					
	2	20歯以上自分の歯を有する人の割合 75~84歳	18.18%	20%以上		高齢期	健康指標	1	1			
	2	24歯以上自分の歯を有する人の割合 55~64歳	40.30%	50%以上		高齢期	健康指標	1	1			
	2	義歯の不適合な人の割合(要介護高齢者)	73%	35%以下		高齢期	健康指標		1			
	2	フッ化物歯面塗布を受けたことのある幼児の割合(3歳児)	29.0%	40%以上		乳幼児期	リスク低減	1				
	2	間食として甘味食品を頻回摂取する幼児の割合(1.5歳児)	調査予定			乳幼児期	リスク低減				1	
	2	間食の時間を決めている幼児の割合(1.5歳児)	50.66%	70%以上		乳幼児期	リスク低減					
	2	個別的な歯口清掃指導を受ける人の割合(小・中・高)	調査予定			学齢期	リスク低減	1				
	2	毎日2回以上歯磨きする人の割合	57.76%	80%以上		成人期	リスク低減					
	2	歯間部清掃用器具を使用する人の割合 35~44歳	11.70%	35%以上		成人期	リスク低減	1				
	2	歯間部清掃用器具を使用する人の割合 45~54歳	14.80%	40%以上		成人期	リスク低減	1				
	2	定期的に歯科を受診する人の割合	15.60%	30%以上		成人期	リスク低減	1	1			
	2	口腔ケアを行う介助者の割合	調査予定			高齢期	リスク低減		1			
岩手	3	I 幼年期(1~4歳)・II 少年期(5~14歳)におけるむし歯を持たない者の割合の増加 1歳6ヶ月児	93.7%	95%以上	1998年1歳6ヶ月児、3歳児健診	乳幼児期	健康指標					
	3	I 幼年期(1~4歳)・II 少年期(5~14歳)におけるむし歯を持たない者の割合の増加 3歳児	48.4%	70%	1998年1歳6ヶ月児、3歳児健診	乳幼児期	健康指標	1				
	3	I 幼年期(1~4歳)・II 少年期(5~14歳)におけるむし歯を持たない者の割合の増加 12歳児	26.4%	50%	1999年岩手県学校保健統計	学齢期	健康指標					
	3	12歳児における1人平均のむし歯の本数の減少	2.98歯	1.5歯以下	1999年岩手県学校保健統計	学齢期	健康指標	1				
	3	I 幼年期における親に毎日仕上げ磨きを受ける者の割合の増加	70%	90%以上	1999年岩手県歯科疾患実態調査	乳幼児期	リスク低減					
	3	I 幼年期におけるフッ素塗布を受けたことのある者の割合の増加(3歳児)	39.6%	50%以上	1993年歯科疾患実態調査	乳幼児期	リスク低減	1				
	3	I 幼年期・II 少年期におけるおやつとして甘いものをとる回数が1日2回以下である者の割合の増加	73.7%	90%以上	1999年岩手県歯科疾患実態調査	乳幼児期	リスク低減	1				
	3	重度歯周病(GPI3以上)に罹っている者の割合の減少 15~24歳	2.5%	2%	1999年岩手県歯科疾患実態調査	学齢期	健康指標					
	3	重度歯周病(GPI3以上)に罹っている者の割合の減少 25~44歳	29.6%	26%	1999年岩手県歯科疾患実態調査	成人期	健康指標	1				
	3	重度歯周病(GPI3以上)に罹っている者の割合の減少 45~64歳	38.4%	34%	1999年岩手県歯科疾患実態調査	成人期	健康指標	1				
	3	15歳以上における歯間清掃器具(フロス・歯間ブラシ)を使用する者の割合の増加	26.0%	50%以上	1999年岩手県歯科疾患実態調査	成人期	リスク低減	1				
	3	15歳以上における年1回定期検診を受けている者の割合の増加	15.5%	30%以上	1999年岩手県歯科疾患実態調査	成人期	リスク低減	1	1			
	3	V 中年期(45~64歳)における24歯以上有する者の割合の増加	42%	50%以上	1999年岩手県歯科疾患実態調査	成人期	健康指標		1			
	3	VI 高年期(65歳以上)における20歯以上有する者の割合の増加	11.8%	20%以上	1999年岩手県歯科疾患実態調査	高齢期	健康指標		1			

(資料)

健康日本21地方計画「歯の健康」目標リスト(2/22)

都道府県	目標	現状	目標値	データ	ライフステージ	目標・リスク低減	国目標の有無	歯の喪失防止	喫煙	間食回数	フッ化物洗口
秋田	5 3歳児におけるう蝕のない者の割合	43.9%	70%	1998年度幼児歯科健康診査(3歳児)	乳幼児期	健康指標	1				
	5 12歳児におけるDMF歯数	3.91本	2本	1998年度学校歯科健診(小学校6年生)	学齢期	健康指標	1				
	5 進行した歯周病に罹患している者(4mm以上のポケットを有する人)の割合 40歳	今後調査	減少		成人期	健康指標	1				
	5 進行した歯周病に罹患している者(4mm以上のポケットを有する人)の割合 50歳	今後調査	減少		成人期	健康指標	1				
	5 60歳における24歯以上の自分の歯を有する者の割合	今後調査	増加		成人期	健康指標	1	1			
	5 80歳における20歯以上の自分の歯を有する者の割合	今後調査	増加		高齢期	健康指標	1	1			
	5 3歳までにフッ化物塗布を受けたことのある者の割合	今後調査	増加		乳幼児期	リスク低減	1				
	5 間食として甘味食品・飲料を1日3回以上飲食する習慣を持つ者の割合	今後調査	減少		乳幼児期	リスク低減	1				
	5 少年期におけるフッ化物入り歯磨剤の使用者の割合	今後調査	増加		学齢期	リスク低減	1				
	5 少年期において過去1年間に個別的口腔清掃指導を受けたことのある者の割合	今後調査	増加		学齢期	リスク低減	1				
	5 大臼歯のフィッシャーシーラントの処置を受けた者の割合	今後調査	増加		学齢期	リスク低減					
	5 歯間部清掃用器具を使用している者の割合 40歳	今後調査	増加		成人期	リスク低減	1				
	5 歯間部清掃用器具を使用している者の割合 50歳	今後調査	増加		成人期	リスク低減	1				
	5 40歳以上で定期的に歯科健診を受けている者の割合	今後調査	増加		成人期	リスク低減	1	1			
	5 40歳以上で定期的に歯石除去や歯垢清掃を受けている者の割合	今後調査	増加		成人期	リスク低減	1	1			
	5 喫煙によりかかりやすい疾患を知っている者の割合 歯周病	20.50%	100%		成人期	リスク低減	1				
	5 65歳以上の義歯が必要な人の義歯未装着者、未使用者の割合	今後調査	減少		高齢期	リスク低減					
山形	6 3歳児でむし歯のない幼児の割合の増加	45.8%	80%以上	1999年度3歳児歯科健康診査、1999年度市町村歯科保健調査	乳幼児期	健康指標	1				
	6 1歳6ヶ月児のフッ素塗布受診者の割合の増加	23%	50%以上	1995年度山形県歯科疾患実態調査	乳幼児期	リスク低減					
	6 1歳6ヶ月児以前に母乳、哺乳瓶を卒業するものの割合の増加	今後調査	90%以上		乳幼児期	リスク低減					
	6 1歳6か月児で3回以上の間食をするものの減少	30.7%	15%以下	1995年度山形県歯科疾患実態調査	乳幼児期	リスク低減	1				
	6 12歳児の一人平均むし歯本数の減少	2.3本	1本以下	1999年度保健福利課調査	学齢期	健康指標	1				
	6 小中学校の学校保健委員会で歯と口の健康づくりをテーマに取り上げる学校の増加 小学校	61%	90%以上	2000年度保健福利課調査	学齢期	リスク低減					
	6 小中学校の学校保健委員会で歯と口の健康づくりをテーマに取り上げる学校の増加 中学校	40%	80%以上	2000年度保健福利課調査	学齢期	リスク低減					
	6 関係者の理解を得てフッ素洗口を実施する保育所・幼稚園・小学校・中学校等の増加	62施設	100施設	1995年度山形県歯科疾患実態調査、2000年保健業務課まとめ	学齢期	リスク低減					1
	6 進行した歯周炎に罹患している人の割合の減少 40歳	43.3%	25%以下		成人期	健康指標	1				
	6 進行した歯周炎に罹患している人の割合の減少 50歳	65.6%	40%以上		成人期	健康指標	1				
	6 歯間部清掃用器具を使用している人の増加 40歳	今後調査	50%以上		成人期	リスク低減	1				
	6 歯間部清掃用器具を使用している人の増加 50歳	今後調査	50%以上		成人期	リスク低減	1				
	6 歯周疾患検診、または成人歯科健診を実施している市町村数の増加	15市町村	44市町村		成人期	市町村					
	6 100人以上の規模の事業所での歯科健診実施率の増加	今後調査	(2倍以上)		成人期	リスク低減					
	6 喫煙が及ぼす健康影響についての十分な知識の普及	今後調査	100%		成人期	リスク低減	1				
	6 禁煙支援プログラムの普及 a妊婦への禁煙指導実施率(市町村・医療機関)	今後調査	100%		成人期	市町村	1				
	6 禁煙支援プログラムの普及 a禁煙補助薬を併用し禁煙指導を実施している医療機関の割合	31.0%	75%以上		成人期	リスク低減					
	6 8020達成者率の増加	14.6%	25%以上	1995年度山形県歯科疾患実態調査	高齢期	健康指標	1	1			
	6 6024達成者率の増加	46.1%	55%以上	1995年度山形県歯科疾患実態調査	成人期	健康指標	1	1			
	6 60歳での定期的な歯石除去、歯垢清掃受診者の割合の増加	今後調査	(2倍以上)		成人期	リスク低減		1			
	6 60歳での定期的な歯科検診受診者の割合の増加	今後調査	(2倍以上)		成人期	リスク低減		1			
	6 口腔ケアを介護教室で取り上げる市町村数の増加	今後調査	(2倍以上)		高齢期	市町村		1			
	6 60及び80歳で郷土の名産を不自由なく食べている人の割合の増加	今後調査	(2倍以上)		成人期	健康指標		1			

(資料)

健康日本21地方計画「歯の健康」目標リスト(3/22)

都道府県	コード	目 標	現 状	目 標 値	デ ー タ	ライフステージ	目標・リスク低減	国目標の有無	歯の喪失防止	喫煙	間食回数	フッ化物洗口
福島	7	3歳児におけるう歯のない者の割合	50.2%	70%	1999年度3歳児歯科健康診査	乳幼児期	健康指標		1			
	7	甘味飲食品を毎日摂る者の割合		平成13年以降の調査結果により設定		乳幼児期	リスク低減					
	7	12歳児における1人平均う歯数(永久歯)	3.1歯	2歯	2000年度学校保健統計調査	学齢期	健康指標		1			
	7	昼食後に歯磨きを実施している学校の割合 小学校	81.2%	90%	1999年度福島県学校保健・学校安全に関する調査	学齢期	リスク低減					
	7	昼食後に歯磨きを実施している学校の割合 中学校	36.7%	50%	1999年度福島県学校保健・学校安全に関する調査	学齢期	リスク低減					
	7	昼食後に歯磨きを実施している学校の割合 高等学校	1.0%	20%	1999年度福島県学校保健・学校安全に関する調査	学齢期	リスク低減					
	7	40歳における進行した歯周炎に罹患している者の割合	38.1%	25%	1999年度市町村成人歯科健診	成人期	健康指標		1			
	7	50歳における進行した歯周炎に罹患している者の割合	51.5%	35%	1999年度市町村成人歯科健診	成人期	健康指標		1			
	7	定期的に歯科健診や歯石除去を受けている者の割合	17.2%	25%	1997年度相双地域成人高齢者の歯科保健調査	成人期	リスク低減		1	1		
	7	定期的に歯科健診や歯石除去を受けている者の割合	17.1%	25%	1997年度相双地域成人高齢者の歯科保健調査	成人期	リスク低減		1	1		
	7	毎食後(1日3回以上)歯を磨いている者の割合	16.1%	30%	1999年度市町村成人歯科健診	成人期	リスク低減					
	7	80歳で自分の歯を20歯以上有する者の割合	11.8%	20%	1997年度 福島県成人歯科疾患実態調査	高齢期	健康指標		1	1		
	7	60歳で自分の歯を24歯以上有する者の割合	43.8%	50%	1997年度 福島県成人歯科疾患実態調査	成人期	健康指標		1	1		
茨城	8	3歳児のむし歯のある者の割合の減少	42.7%	25%以下	1999年度3歳児歯科健康診査実施状況	乳幼児期	健康指標		1			
	8	12歳児における一人平均むし歯数の減少	3.25本	1.5本以下	1999年度学校歯科健康診断状況	学齢期	健康指標		1			
	8	12歳児における歯肉に炎症の認められる者の減少	調査により把握	調査により把握		学齢期	健康指標					
	8	40・50歳における進行した歯周病に罹患している者の割合の減少	調査により把握	調査により把握		成人期	健康指標		1			
	8	茨城県の歯科保健目標を知っている者の割合の増加		80%		成人期	リスク低減					
	8	専門的口腔ケアを受けることが歯科疾患予防に効果的であることを認識している者の割合の増加		80%		成人期	リスク低減					
	8	定期的な歯科検診を受ける者の割合の増加	10.2%	30%	2000年度県民健康づくりに関する実態調査結果	成人期	リスク低減		1	1		
	8	毎日歯や歯ぐきを観察する者の割合の増加	14.6%	30%	2000年度県民健康づくりに関する実態調査結果	成人期	リスク低減					
	8	フッ素塗布、フッ素洗口及びフッ化物配合歯磨き剤がむし歯予防に有効であることを認識している者の割合の増加		80%		成人期	リスク低減					
	8	3歳までにフッ素塗布を受けた経験のある者の割合の増加		50%		乳幼児期	リスク低減		1			
	8	就寝前の甘味食品・飲料の摂取習慣のない者の割合の増加		調査により設定		乳幼児期	リスク低減					
	8	歯間部清掃用具の使用が歯周病の発生予防に有効であることを認識している者の割合の増加		80%		成人期	リスク低減					
	8	喫煙と歯周病の関連を認識している者の割合の増加		80%		成人期	リスク低減		1			
	8	毎日、1回は10分くらい歯磨きを行う者の割合の増加	25.5%	50%	2000年度県民健康づくりに関する実態調査結果	成人期	リスク低減					
	8	歯科医師や歯科衛生士による歯磨き指導を受けた者の割合の増加		30%		成人期	リスク低減		1			
	8	糸楊子や歯間ブラシを使用している者の割合の増加	10.0%	30%	2000年度県民健康づくりに関する実態調査結果	成人期	リスク低減		1			
栃木	9	むし歯のない幼児の増加 3歳児	58.1%	80%以上	1998年12月栃木県の歯科保健	乳幼児期	健康指標		1			
	9	一人平均むし歯数の減少 12歳児	3.3歯	1歯以下	1999年学校保健統計調査(県)	学齢期	健康指標		1			
	9	進行した歯周炎の減少 40歳	25.6%	17.9%以下	健康と暮らしに関するアンケート調査(45～54歳)「歯肉から出血したりうずいたりする」人の割合	成人期	健康指標		1			
	9	進行した歯周炎の減少 50歳	25.6%	17.9%以下	健康と暮らしに関するアンケート調査(45～55歳)「歯肉から出血したりうずいたりする」人の割合	成人期	健康指標		1			
	9	80歳で20歯以上、60歳で24歯以上自分の歯を有する人の割合 80歳		平成13年度調査により設定		高齢期	健康指標		1	1		
	9	80歳で20歯以上、60歳で24歯以上自分の歯を有する人の割合 60歳		平成13年度調査により設定		成人期	健康指標		1	1		

(資料)		健康日本21地方計画「歯の健康」目標リスト(4/22)										
都道府県	県コード	目 標	現状	目標値	データ	ライフステージ	目標・リスク低減	国目標の有無	歯の喪失防止	喫煙	間食回数	フッ化物洗口
群馬	10	80歳で20歯以上持つ人の割合	21.0%	30%以上	県成人歯科保健実態調査(2000年度)	高齢期	健康指標	1	1			
	10	60歳で24歯以上持つ人の割合	54.5%	60%以上	県成人歯科保健実態調査(2000年度)	成人期	健康指標	1	1			
	10	定期的な歯科健診を受ける人の割合	7.8%	30%以上	県成人歯科保健実態調査(2000年度)	成人期	リスク低減	1	1			
	10	定期的な歯石除去等を受ける人の割合	7.8%	30%以上	県成人歯科保健実態調査(2000年度)	成人期	リスク低減		1			
	10	失った歯について入れ歯などによる治療が済んでいる人の割合	今後調査予定	90%以上		成人期	リスク低減					
	10	3歳でむし歯のない人の割合	59.3%	80%以上	市町村母子保健報告(2000年度)	乳幼児期	健康指標	1				
	10	3歳までにフッ化物歯面塗布を受けた人の割合	今後調査予定	70%以上		乳幼児期	リスク低減	1				
	10	間食として甘味食品・飲料を1日3回以上飲食する人の割合	今後調査予定	20%以下		乳幼児期	リスク低減	1			1	
	10	12歳で一人平均むし歯数	2.9本	1歯以下	県教育委員会保健体育課統計資料(2000年度)	学齢期	健康指標	1				
	10	フッ化物配合歯磨剤の使用者	今後調査予定	90%以上		学齢期	リスク低減	1				
	10	フッ化物洗口を利用している人の割合	今後調査予定	50%以上		学齢期	リスク低減					1
	10	過去1年間に個別的歯口清掃指導を受けた人の割合	今後調査予定	30%以上		学齢期	リスク低減	1				
	10	進化した歯周炎の減少を有する人の割合 40歳	31.2%	22%以下	県成人歯科保健実態調査(2000年度)	成人期	健康指標	1				
	10	進化した歯周炎の減少を有する人の割合 50歳	40.0%	30%以下	県成人歯科保健実態調査(2000年度)	成人期	健康指標	1				
	10	歯間部清掃用器具を使用する人の割合 40歳	31.3%	60%以上	県成人歯科保健実態調査(2000年度)	成人期	リスク低減	1				
	10	歯間部清掃用器具を使用する人の割合 50歳	30.5%	60%以上	県成人歯科保健実態調査(2000年度)	成人期	リスク低減	1				
	10	喫煙と歯周病に関する正しい知識	今後調査予定	100%		成人期	リスク低減	1				
	10	歯周病及び露出した歯根面のむし歯予防のための予防処置を受ける人の割合	今後調査予定	30%以上		成人期	リスク低減					
	10	訪問口腔衛生指導を実施する市町村	38市町村	70市町村(100%)	県老人保健事業実績表(1999年度)	成人期	市町村					
	10	障害児(者)の訪問口腔衛生指導を実施する市町村	7市町村	35市町村(50%)	市町村歯科保健事業調査(1999年度)	障害者	市町村					
埼玉	11	3歳児で定期的にフッ化物歯面塗布を受けている者の割合	47.7%(?)	50%以上	1999年歯科疾患実態調査(厚生労働省)	乳幼児期	リスク低減	1				
	11	保育園および幼稚園におけるフッ化物洗口実施施設数	25施設	実施施設数の増加	2000年度埼玉県調べ	乳幼児期	リスク低減					1
	11	う蝕のない幼児の割合 3歳児	66.4%	80%以上	1999年度3歳児歯科健康診査結果(埼玉県)	乳幼児期	健康指標	1				
	11	3歳児のう蝕数(一人平均う蝕数)	1.47本	1本以下	1999年度3歳児歯科健康診査結果(埼玉県)	乳幼児期	健康指標					
	11	12歳児の一人平均う蝕数	2.9本	1本以下	1999年度埼玉県学校歯科健診結果(埼玉県)	学齢期	健康指標	1				
	11	小学校・中学校におけるフッ化物洗口の実施施設数	実施施設なし	実施施設数の増加	2000年度埼玉県調べ	学齢期	リスク低減					1
	11	学童期におけるフッ化物配合歯磨剤使用者の割合	45.6%	90%以上	荒川浩久らによる調査 平成3年	学齢期	リスク低減	1				
	11	40・50歳代で進化した歯周炎(CPI最大コード3以上)を有する者の割合 40歳代	38.8%(?)	30%以下	1999年歯科疾患実態調査(厚生労働省)	成人期	健康指標	1				
	11	40・50歳代で進化した歯周炎(CPI最大コード3以上)を有する者の割合 50歳代	47.6%(?)	40%以下	1999年歯科疾患実態調査(厚生労働省)	成人期	健康指標	1				
	11	歯間部清掃用器具の使用者の割合 40歳代	26.6%	50%以上	2000年度生活と健康に関する調査(埼玉県)	成人期	リスク低減	1				
	11	歯間部清掃用器具の使用者の割合 50歳代	23.7%	50%以上	2000年度生活と健康に関する調査(埼玉県)	成人期	リスク低減	1				
	11	40歳、50歳の歯周疾患検診を実施する市町村数	24市町村	全市町村	2000年度埼玉県調べ	成人期	市町村					
	11	喫煙が及ぼす健康影響の認識(喫煙者への健康影響の認識) 肺がん	74.3%	100%	2000年度生活と健康に関する調査(埼玉県)	成人期	リスク低減					
	11	喫煙が及ぼす健康影響の認識(喫煙者への健康影響の認識) 妊婦への影響	67.0%	100%	2000年度生活と健康に関する調査(埼玉県)	成人期	リスク低減					
	11	喫煙が及ぼす健康影響の認識(喫煙者への健康影響の認識) 歯周疾患	20.7%	80%以上	2000年度生活と健康に関する調査(埼玉県)	成人期	リスク低減	1				
	11	65歳で25歯以上、80歳で20歯以上自分の歯を有する人の割合 65歳	34.3%(?)	50%以上	1999年歯科疾患実態調査(厚生労働省)	成人期	健康指標		1			
	11	65歳で25歯以上、80歳で20歯以上自分の歯を有する人の割合 80歳	15.3%(?)	20%以上	1999年歯科疾患実態調査(厚生労働省)	高齢期	健康指標	1	1			
	11	定期的歯科健診受診者の割合	34.8%	50%以上	2000年度生活と健康に関する調査(埼玉県)	成人期	リスク低減	1	1			
	11	65歳及び80歳での無歯顎者の割合 65歳	8.0%(?)	2%以下	1999年歯科疾患実態調査(厚生労働省)	成人期	健康指標					
	11	65歳及び80歳での無歯顎者の割合 80歳	32.9%(?)	20%以下	1999年歯科疾患実態調査(厚生労働省)	高齢期	健康指標					
	11	歯科衛生士配置市町村数	11市	全市町村	2000年度埼玉県調べ		市町村					
	11	フッ化物応用等、科学的根拠に基づく歯科疾患予防法の情報の提供と普及活動		現行県を把握の上、設			リスク低減					

(資料)

健康日本21地方計画「歯の健康」目標リスト(5/22)

都道府県	目標	現状	目標値	データ	ライフステージ	目標・リスク低減	国目標の有無	歯の喪失防止	喫煙	間食回数	フッ化物洗口
千葉	12 3歳児におけるう歯のない者の割合	62.2%	80%以上	1999年千葉県3歳児歯科健康診査	乳幼児期	健康指標	1				
	12 3歳児における一人平均う歯数の減少	1.77歯	0.5歯以下	1999年千葉県3歳児歯科健康診査	乳幼児期	健康指標					
	12 3歳までにフッ化物歯面塗布を受けたことのある者の割合	35.0%	50%以上	2000年千葉県歯科保健実態調査	乳幼児期	リスク低減	1				
	12 間食として甘味食品・飲料を1日3回以上飲食する習慣を持つ者の割合	14.9%	減少	2000年千葉県歯科保健実態調査	乳幼児期	リスク低減	1			1	
	12 よくかんで食べる習慣を身につける		増加	(千葉県の農産物を利用して食べる機能を十分に発揮させる)	乳幼児期	リスク低減					
	12 12歳児における一人平均う歯数(DMF歯数)の減少	2.3歯	1歯以下	2000年学校保健統計調査	学齢期	健康指標	1				
	12 学童期におけるフッ化物配合歯磨剤使用者の割合の増加: 小学校第1学年	52.2%	90%以上	2000年千葉県歯科保健実態調査	学齢期	リスク低減					
	12 学童期におけるフッ化物配合歯磨剤使用者の割合の増加: 小学校第4学年	21.0%	90%以上	2000年千葉県歯科保健実態調査	学齢期	リスク低減					
	12 学童期におけるフッ化物配合歯磨剤使用者の割合の増加: 中学校第1学年	21.0%	90%以上	2000年千葉県歯科保健実態調査	学齢期	リスク低減					
	12 学童期におけるフッ化物配合歯磨剤使用者の割合の増加: 高等学校第1学年	21.4%	90%以上	2000年千葉県歯科保健実態調査	学齢期	リスク低減					
	12 学齢期において過去1年間に個別の歯口清掃指導を受けたことのある者の割合の増加				学齢期	リスク低減	1				
	12 過去1年間に個別の歯口清掃指導を受けたことのある者の割合: 15-19歳	21.6%	30%以上	1999年千葉県の歯科保健意識の実態	学齢期	リスク低減	1				
	12 40-50歳における進行した歯周炎に罹患している者(4mm以上の歯周ポケットを有する者)の割合の減少 40歳(40~49歳)	30.4%	20%以下	2000年千葉県歯科保健実態調査	成人期	健康指標	1				
	12 40-50歳における進行した歯周炎に罹患している者(4mm以上の歯周ポケットを有する者)の割合の減少 50歳(50~59歳)	40.5%	30%以下	2000年千葉県歯科保健実態調査	成人期	健康指標	1				
	12 歯間部清掃用器具を使用している者の割合の増加 20歳(20~24歳)	34.6%	60%以上	2000年千葉県生活習慣状況調査	成人期	リスク低減					
	12 歯間部清掃用器具を使用している者の割合の増加 30歳(30~34歳)	42.1%	60%以上	2000年千葉県生活習慣状況調査	成人期	リスク低減					
	12 歯間部清掃用器具を使用している者の割合の増加 40歳(40~44歳)	42.6%	60%以上	2000年千葉県生活習慣状況調査	成人期	リスク低減	1				
	12 歯間部清掃用器具を使用している者の割合の増加 50歳(50~54歳)	43.8%	60%以上	2000年千葉県生活習慣状況調査	成人期	リスク低減	1				
	12 歯間部清掃用器具を使用している者の割合の増加 60歳(60~64歳)	40.6%	60%以上	2000年千葉県生活習慣状況調査	成人期	リスク低減					
	12 喫煙が及ぼす健康影響についての知識の普及 歯周病	21.2%	100%	2000年千葉県生活習慣状況調査	成人期	リスク低減	1		1		
	12 禁煙・節煙を希望する者に対する禁煙支援プログラムを全ての市町村で受けられるようにする 市町村数	19%	100%	2000年禁煙支援プログラムの実施状況調査	成人期	市町村	1		1		
	12 喫煙者数の減少 男性喫煙率	43.5%	35.1%	2000年千葉県生活習慣状況調査	成人期	リスク低減			1		
	12 喫煙者数の減少 女性喫煙率	12.3%	9.7%	2000年千葉県生活習慣状況調査	成人期	リスク低減			1		
	12 80歳における20歯以上の自分の歯を有する者の割合 80歳(80歳以上)	15.6%	20%以上	2000年千葉県生活習慣状況調査	高齢期	健康指標	1		1		
	12 60歳における24歯以上の自分の歯を有する者の割合 60歳(60~69歳)	39.8%	50%以上	2000年千葉県歯科保健実態調査	成人期	健康指標	1		1		
	12 一人平均現在歯数(30歳代)の増加	27.5本	28.0本	2000年千葉県歯科保健実態調査	成人期	健康指標					
	12 一人平均現在歯数(40歳代)の増加	26.2本	27.0本以上	2000年千葉県歯科保健実態調査	成人期	健康指標					
	12 一人平均現在歯数(50歳代)の増加	22.3本	25.0本以上	2000年千葉県歯科保健実態調査	成人期	健康指標					
	12 一人平均現在歯数(60歳代)の増加	18.6本	21.0本以上	2000年千葉県歯科保健実態調査	成人期	健康指標					
	12 一人平均現在歯数(70歳代)の増加	10.6本	15.0本以上	2000年千葉県歯科保健実態調査	高齢期	健康指標					
	12 一人平均現在歯数(80歳代)の増加	4.5本	10.5本以上	2000年千葉県歯科保健実態調査	高齢期	健康指標					
	12 定期的に歯石除去や歯面清掃を受けている者の割合の増加	39.2%	60%以上	2000年千葉県生活習慣状況調査	成人期	リスク低減	1		1		
	12 定期的に歯科検診を受けている者の割合の増加	38.8%	60%以上	2000年千葉県生活習慣状況調査	成人期	リスク低減	1		1		
	12 フッ化物配合歯磨剤使用者の割合の増加	51.9%	90%以上	2000年千葉県生活習慣状況調査	学齢期	リスク低減	1				

(資料)

健康日本21地方計画「歯の健康」目標リスト(6/22)

都道府県	市区町村	目 標	現状	目標値	データ	ライフステージ	目標・リスク低減	国目標の有無	歯の喪失防止	喫煙	間食回数	フッ化物洗口
東京	13	60歳における24歯以上の自分の歯を有する人の割合	55.2%	65%以上	西暦2010年の歯科保健目標の提言と西暦2000年の歯科保健目標の達成度評価-東京都歯科保健推進協議会報告書-東京都歯科診療所患者調査(発行:2000年8月東京都衛生局)	成人期	健康指標	1	1			
	13	70歳における20歯以上の自分の歯を有する人の割合	53.5%	60%以上	西暦2010年の歯科保健目標の提言と西暦2000年の歯科保健目標の達成度評価-東京都歯科保健推進協議会報告書-東京都歯科診療所患者調査(発行:2000年8月東京都衛生局)	高齢期	健康指標		1			
	13	80歳における20歯以上の自分の歯を有する人の割合	27.0%	30%以上	西暦2010年の歯科保健目標の提言と西暦2000年の歯科保健目標の達成度評価-東京都歯科保健推進協議会報告書-東京都歯科診療所患者調査(発行:2000年8月東京都衛生局)	高齢期	健康指標	1	1			
	13	60歳における歯が1本も無い人の割合	0.8%	1%以下	西暦2010年の歯科保健目標の提言と西暦2000年の歯科保健目標の達成度評価-東京都歯科保健推進協議会報告書-東京都歯科診療所患者調査(発行:2000年8月東京都衛生局)	成人期	健康指標		1			
	13	70歳における歯が1本も無い人の割合	3.9%	5%以下	西暦2010年の歯科保健目標の提言と西暦2000年の歯科保健目標の達成度評価-東京都歯科保健推進協議会報告書-東京都歯科診療所患者調査(発行:2000年8月東京都衛生局)	高齢期	健康指標		1			
	13	80歳における歯が1本も無い人の割合	12.2%	10%以下	西暦2010年の歯科保健目標の提言と西暦2000年の歯科保健目標の達成度評価-東京都歯科保健推進協議会報告書-東京都歯科診療所患者調査(発行:2000年8月東京都衛生局)	高齢期	健康指標		1			
	13	乳歯のう歯のない子どもの割合 3歳	70.3%	90%以上	東京の歯科保健-3歳児歯科健康診査結果(発行:2000年8月東京都衛生局)	乳幼児期	健康指標	1				
	13	乳歯のう歯のない子どもの割合 5歳	42.5%	70%以上	幼稚園・保育所等歯科健康診査結果(発行:東京都衛生局)	乳幼児期	健康指標					
	13	永久歯のう歯のない子どもの割合 6歳	88.5%	95%以上	2000年度小学校定期健康診断結果抽出調査(発行:東京都衛生局)	学齢期	健康指標					
	13	永久歯のう歯のない子どもの割合 9歳	57.1%	75%以上	2000年度小学校定期健康診断結果抽出調査(発行:東京都衛生局)	学齢期	健康指標					
	13	永久歯のう歯のない子どもの割合 12歳	24.9%	50%以上	1999年度東京都の学校保健統計書-定期健康診断疾病異常調査(発行:2000年3月東京都教育委員会)	学齢期	健康指標					
	13	12歳における一人平均う歯数(DMF歯数)	2.6歯	1.3歯以下	1999年度東京都の学校保健統計書-定期健康診断疾病異常調査(発行:2000年3月東京都教育委員会)	学齢期	健康指標	1				
	13	12歳における歯肉に炎症所見の認められる子ども(GO及びG)の割合	13.5%	10%以下	2000年度中学校定期健康診断結果抽出調査(発行:東京都衛生局)	学齢期	健康指標					
	13	進行した歯周病にかかっている人(CPI最大コード3以上の者)の割合 40歳	31.7%	20%以下	西暦2010年の歯科保健目標の提言と西暦2000年の歯科保健目標の達成度評価-東京都歯科保健推進協議会報告書-東京都歯科疾患実態調査(発行:2000年8月東京都衛生局)	成人期	健康指標	1				
	13	進行した歯周病にかかっている人(CPI最大コード3以上の者)の割合 50歳	48.9%	30%以下	西暦2010年の歯科保健目標の提言と西暦2000年の歯科保健目標の達成度評価-東京都歯科保健推進協議会報告書-東京都歯科疾患実態調査(発行:2000年8月東京都衛生局)	成人期	健康指標	1				
	13	進行した歯周病にかかっている人(CPI最大コード3以上の者)の割合 60歳	56.8%	40%以上	西暦2010年の歯科保健目標の提言と西暦2000年の歯科保健目標の達成度評価-東京都歯科保健推進協議会報告書-東京都歯科疾患実態調査(発行:2000年8月東京都衛生局)	成人期	健康指標					
	13	フッ化物配合歯磨剤を使用している子どもの割合 3歳	29.3%	70%以上	西暦2010年の歯科保健目標の提言と西暦2000年の歯科保健目標の達成度評価-東京都歯科保健推進協議会報告書-東京都幼児期・学齢期の歯科保健行動に関する調査(発行:2000年8月東京都衛生局)	乳幼児期	リスク低減					
	13	フッ化物配合歯磨剤を使用している子どもの割合 5歳	43.2%	90%以上	西暦2010年の歯科保健目標の提言と西暦2000年の歯科保健目標の達成度評価-東京都歯科保健推進協議会報告書-東京都幼児期・学齢期の歯科保健行動に関する調査(発行:2000年8月東京都衛生局)	乳幼児期	リスク低減					
	13	フッ化物配合歯磨剤を使用している子どもの割合 小学生(6歳~11歳)9歳	15.6%	90%以上	西暦2010年の歯科保健目標の提言と西暦2000年の歯科保健目標の達成度評価-東京都歯科保健推進協議会報告書-東京都幼児期・学齢期の歯科保健行動に関する調査(発行:2000年8月東京都衛生局)	学齢期	リスク低減	1				
	13	フッ化物配合歯磨剤を使用している子どもの割合 中学生(12歳~14歳)12歳	17.2%	90%以上	西暦2010年の歯科保健目標の提言と西暦2000年の歯科保健目標の達成度評価-東京都歯科保健推進協議会報告書-東京都幼児期・学齢期の歯科保健行動に関する調査(発行:2000年8月東京都衛生局)	学齢期	リスク低減	1				
	13	週に1回以上、フロスを使用している子どもの割合 中学生(12歳~14歳)12歳	23.8%	40%以上	西暦2010年の歯科保健目標の提言と西暦2000年の歯科保健目標の達成度評価-東京都歯科保健推進協議会報告書-東京都幼児期・学齢期の歯科保健行動に関する調査(発行:2000年8月東京都衛生局)	学齢期	リスク低減					
	13	週に1回以上、子どもの歯と口腔を観察している保護者の割合 幼児期(1歳~5歳)1歳6ヶ月	78.1%	90%以上	西暦2010年の歯科保健目標の提言と西暦2000年の歯科保健目標の達成度評価-東京都歯科保健推進協議会報告書-東京都幼児期・学齢期の歯科保健行動に関する調査(発行:2000年8月東京都衛生局)	乳幼児期	リスク低減					
	13	週に1回以上、子どもの歯と口腔を観察している保護者の割合 幼児期(1歳~5歳)3歳	80.2%	90%以上	西暦2010年の歯科保健目標の提言と西暦2000年の歯科保健目標の達成度評価-東京都歯科保健推進協議会報告書-東京都幼児期・学齢期の歯科保健行動に関する調査(発行:2000年8月東京都衛生局)	乳幼児期	リスク低減					
	13	週に1回以上、子どもの歯と口腔を観察している保護者の割合 (1歳~5歳)5歳	69.4%	90%以上	西暦2010年の歯科保健目標の提言と西暦2000年の歯科保健目標の達成度評価-東京都歯科保健推進協議会報告書-東京都幼児期・学齢期の歯科保健行動に関する調査(発行:2000年8月東京都衛生局)	乳幼児期	リスク低減					
	13	週に1回以上、子どもの歯と口腔を観察している保護者の割合 小学校低学年(6歳~8歳)6歳	65.5%	90%以上	西暦2010年の歯科保健目標の提言と西暦2000年の歯科保健目標の達成度評価-東京都歯科保健推進協議会報告書-東京都幼児期・学齢期の歯科保健行動に関する調査(発行:2000年8月東京都衛生局)	学齢期	リスク低減					
	13	月に1回以上、歯や歯肉の自己観察をしている子どもの割合 小学校高学年(9歳~11歳)9歳	68.5%	90%以上	西暦2010年の歯科保健目標の提言と西暦2000年の歯科保健目標の達成度評価-東京都歯科保健推進協議会報告書-東京都幼児期・学齢期の歯科保健行動に関する調査(発行:2000年8月東京都衛生局)	学齢期	リスク低減					
	13	月に1回以上、歯や歯肉の自己観察をしている子どもの割合 中学生(12歳~14歳)12歳	70.8%	90%以上	西暦2010年の歯科保健目標の提言と西暦2000年の歯科保健目標の達成度評価-東京都歯科保健推進協議会報告書-東京都幼児期・学齢期の歯科保健行動に関する調査(発行:2000年8月東京都衛生局)	学齢期	リスク低減					
	13	定期健診や予防処置(フッ化物歯面塗布、シーラント処置等)をしてくれる「かかりつけ歯科医」をもつ子どもの割合 3歳	31.3%	60%以上	西暦2010年の歯科保健目標の提言と西暦2000年の歯科保健目標の達成度評価-東京都歯科保健推進協議会報告書-東京都幼児期・学齢期の歯科保健行動に関する調査(発行:2000年8月東京都衛生局)	学齢期	リスク低減					
	13	定期健診や予防処置(フッ化物歯面塗布、シーラント処置等)をしてくれる「かかりつけ歯科医」をもつ子どもの割合 5歳	65.9%	90%以上	西暦2010年の歯科保健目標の提言と西暦2000年の歯科保健目標の達成度評価-東京都歯科保健推進協議会報告書-東京都幼児期・学齢期の歯科保健行動に関する調査(発行:2000年8月東京都衛生局)	学齢期	リスク低減					
	13	定期健診や予防処置(フッ化物歯面塗布、シーラント処置等)をしてくれる「かかりつけ歯科医」をもつ子どもの割合 9歳	73.9%	90%以上	西暦2010年の歯科保健目標の提言と西暦2000年の歯科保健目標の達成度評価-東京都歯科保健推進協議会報告書-東京都幼児期・学齢期の歯科保健行動に関する調査(発行:2000年8月東京都衛生局)	学齢期	リスク低減					
	13	定期健診や予防処置(フッ化物歯面塗布、シーラント処置等)をしてくれる「かかりつけ歯科医」をもつ子どもの割合 12歳	53.6%	90%以上	西暦2010年の歯科保健目標の提言と西暦2000年の歯科保健目標の達成度評価-東京都歯科保健推進協議会報告書-東京都幼児期・学齢期の歯科保健行動に関する調査(発行:2000年8月東京都衛生局)	学齢期	リスク低減					
	13	甘味食品をほぼ毎日食べる子どもの割合 3歳	42.0%	減らす	西暦2010年の歯科保健目標の提言と西暦2000年の歯科保健目標の達成度評価-東京都歯科保健推進協議会報告書-東京都幼児期・学齢期の歯科保健行動に関する調査(発行:2000年8月東京都衛生局)	乳幼児期	リスク低減					
	13	甘味食品をほぼ毎日食べる子どもの割合 5歳	35.2%	減らす	西暦2010年の歯科保健目標の提言と西暦2000年の歯科保健目標の達成度評価-東京都歯科保健推進協議会報告書-東京都幼児期・学齢期の歯科保健行動に関する調査(発行:2000年8月東京都衛生局)	乳幼児期	リスク低減					
	13	甘味食品をほぼ毎日食べる子どもの割合 9歳	23.9%	減らす	西暦2010年の歯科保健目標の提言と西暦2000年の歯科保健目標の達成度評価-東京都歯科保健推進協議会報告書-東京都幼児期・学齢期の歯科保健行動に関する調査(発行:2000年8月東京都衛生局)	学齢期	リスク低減					

(資料)

健康日本21地方計画「歯の健康」目標リスト(7/22)

都道府県	コード	目 標	現状	目標値	データ	ライフステージ	目標・リスク低減	国目標の有無	歯の喪失防止	喫煙	間食回数	フッ化物洗口
	13	甘味飲料をほぼ毎日飲む子どもの割合 3歳	36.7%	減らす	西暦2010年の歯科保健目標の提言と西暦2000年の歯科保健目標の達成度評価-東京都歯科保健推進協議会報告書-東京都幼児期・学齢期の歯科保健行動に関する調査(発行:2000年8月東京都衛生局)	乳幼児期	リスク低減					
	13	甘味飲料をほぼ毎日飲む子どもの割合 5歳	27.9%	減らす	西暦2010年の歯科保健目標の提言と西暦2000年の歯科保健目標の達成度評価-東京都歯科保健推進協議会報告書-東京都幼児期・学齢期の歯科保健行動に関する調査(発行:2000年8月東京都衛生局)	乳幼児期	リスク低減					
	13	甘味飲料をほぼ毎日飲む子どもの割合 9歳	22.8%	減らす	西暦2010年の歯科保健目標の提言と西暦2000年の歯科保健目標の達成度評価-東京都歯科保健推進協議会報告書-東京都幼児期・学齢期の歯科保健行動に関する調査(発行:2000年8月東京都衛生局)	学齢期	リスク低減					
	13	1日1回は十分な時間(10分程度)をかけて、ていねいに歯を磨く人の割合 20歳～39歳	20.8%	50%以上	西暦2010年の歯科保健目標の提言と西暦2000年の歯科保健目標の達成度評価-東京都歯科保健推進協議会報告書-東京都歯科診療所患者調査(発行:2000年8月東京都衛生局)	成人期	リスク低減					
	13	1日1回は十分な時間(10分程度)をかけて、ていねいに歯を磨く人の割合 40歳～64歳	23.5%	50%以上	西暦2010年の歯科保健目標の提言と西暦2000年の歯科保健目標の達成度評価-東京都歯科保健推進協議会報告書-東京都歯科診療所患者調査(発行:2000年8月東京都衛生局)	成人期	リスク低減					
	13	1日1回は十分な時間(10分程度)をかけて、ていねいに歯を磨く人の割合 65歳以上	35.4%	50%以上	西暦2010年の歯科保健目標の提言と西暦2000年の歯科保健目標の達成度評価-東京都歯科保健推進協議会報告書-東京都歯科診療所患者調査(発行:2000年8月東京都衛生局)	高齢期	リスク低減					
	13	フロスや歯間ブラシを使用している人の割合 成人期 20歳～39歳	43.3%	80%以上	西暦2010年の歯科保健目標の提言と西暦2000年の歯科保健目標の達成度評価-東京都歯科保健推進協議会報告書-東京都歯科診療所患者調査(発行:2000年8月東京都衛生局)	成人期	リスク低減					
	13	フロスや歯間ブラシを使用している人の割合 成人期 40歳～64歳	44.6%	80%以上	西暦2010年の歯科保健目標の提言と西暦2000年の歯科保健目標の達成度評価-東京都歯科保健推進協議会報告書-東京都歯科診療所患者調査(発行:2000年8月東京都衛生局)	成人期	リスク低減	1				
	13	フロスや歯間ブラシを使用している人の割合 高齢期 65歳以上	34.5%	60%以上	西暦2010年の歯科保健目標の提言と西暦2000年の歯科保健目標の達成度評価-東京都歯科保健推進協議会報告書-東京都歯科診療所患者調査(発行:2000年8月東京都衛生局)	高齢期	リスク低減					
	13	フッ化物配合歯磨剤を使用している人の割合 20歳～39歳	25.2%	90%以上	西暦2010年の歯科保健目標の提言と西暦2000年の歯科保健目標の達成度評価-東京都歯科保健推進協議会報告書-東京都歯科診療所患者調査(発行:2000年8月東京都衛生局)	成人期	リスク低減					
	13	月に1回以上、歯や歯肉の自己観察をしている人の割合 20歳～39歳	73.9%	90%以上	西暦2010年の歯科保健目標の提言と西暦2000年の歯科保健目標の達成度評価-東京都歯科保健推進協議会報告書-東京都歯科診療所患者調査(発行:2000年8月東京都衛生局)	成人期	リスク低減					
	13	自分の歯の数を(誤差が0～1歯の範囲で)知っている人の割合 20歳～39歳	63.1%	70%以上	西暦2010年の歯科保健目標の提言と西暦2000年の歯科保健目標の達成度評価-東京都歯科保健推進協議会報告書-東京都歯科診療所患者調査(発行:2000年8月東京都衛生局)	成人期	リスク低減					
	13	定期健診、歯石除去及び歯面清掃をしてくれる「かかりつけ歯科医」をもつ人の割合 20歳～39歳	20.0%	50%以上	西暦2010年の歯科保健目標の提言と西暦2000年の歯科保健目標の達成度評価-東京都歯科保健推進協議会報告書-東京都歯科疾患実態調査(発行:2000年8月東京都衛生局)	成人期	リスク低減	1	1			
	13	定期健診、歯石除去及び歯面清掃をしてくれる「かかりつけ歯科医」をもつ人の割合 40歳～59歳	39.6%	60%以上	西暦2010年の歯科保健目標の提言と西暦2000年の歯科保健目標の達成度評価-東京都歯科保健推進協議会報告書-東京都歯科疾患実態調査(発行:2000年8月東京都衛生局)	成人期	リスク低減	1	1			
	13	定期健診、歯石除去及び歯面清掃をしてくれる「かかりつけ歯科医」をもつ人の割合 65歳以上	25.4%	70%以上	西暦2010年の歯科保健目標の提言と西暦2000年の歯科保健目標の達成度評価-東京都歯科保健推進協議会報告書-東京都歯科疾患実態調査(発行:2000年8月東京都衛生局)	高齢期	リスク低減		1			
	13	喫煙が歯周病のリスクであることを知っている人の割合 20歳～39歳	35.1%	全ての人に知ってもらう	西暦2010年の歯科保健目標の提言と西暦2000年の歯科保健目標の達成度評価-東京都歯科保健推進協議会報告書-東京都歯科診療所患者調査(発行:2000年8月東京都衛生局)	成人期	リスク低減			1		
	13	歯周疾患検診の実施 歯科疾患検診実施区市町村数	18区市町村	増やす	東京の歯科保健-老人保健法に基づく歯科保健事業実績(2001年9月東京都衛生局)							市町村
神奈川	14	80歳で自分の歯を20本以上もつ人の増加	15.5%	30%以上	?	1998年度県民健康・栄養調査	高齢期	健康指標	1	1		
	14	60～64歳で不自由なく何でも食べられる人の増加 男	63.8%	75%以上	?	1998年度県民健康・栄養調査	成人期	健康指標		1		
	14	60～64歳で不自由なく何でも食べられる人の増加 女	67.2%	75%以上	?	1998年度県民健康・栄養調査	成人期	健康指標		1		
	14	3歳でむし歯のない人の増加	70.3%	80%以上	?	1999年度神奈川県3歳児歯科健診結果	乳幼児期	健康指標	1			
	14	3歳でむし歯のある人のうち重症の人の減少	36.7%	20%以下	?	1999年度神奈川県3歳児歯科健診結果	乳幼児期	健康指標				
	14	12歳児の平均むし歯数の減少	2.8本	1.4本以下	?	1999年度学校保健統計調査神奈川県分	学齢期	健康指標	1			
	14	40歳で進行した歯周病にかかっている人の減少	32.0%	25%以下	?		成人期	健康指標	1			

都道府県	市町村	目 標	現状	目標値	データ	ライフステージ	目標・リスク低減	国目標の有無	歯の喪失防止	喫煙	間食回数	フッ化物洗口
新潟	15	一生自分の歯で食生活を楽しめること					QOL					
	15	会話を楽しめること					QOL					
	15	快適な口腔状態を保持できること					QOL					
	15	歯や口腔の悩み事がない人の増加	46%	60%以上	1999年県民歯科疾患実態調査		QOL					
	15	口腔疾患に起因する生活上の困り事がない人の増加	70%	80%以上	1999年県民歯科疾患実態調査		QOL					
	15	小児のむし歯予防 一人平均むし歯数 乳歯 3歳児	1.8本	1本以下	1999年母子保健事業報告	乳幼児期	健康指標		1			
	15	小児のむし歯予防 一人平均むし歯数 乳歯 5歳児	4.3本	3本以下	2000年小児う蝕実態調査速報	乳幼児期	健康指標					
	15	小児のむし歯予防 一人平均むし歯数 永久歯 12歳児	1.8本	1本以下	2000年小児う蝕実態調査速報	学齢期	健康指標		1			
	15	小児のむし歯予防 一人平均むし歯数 永久歯 17歳児	4.7本	3本以下	2000年小児う蝕実態調査速報	学齢期	健康指標					
	15	成人の歯周病予防 進行した歯周病に罹患している人の減少(割合) 30歳(25~34歳)	22%	15%以下	1999年県民歯科疾患実態調査	成人期	健康指標					
	15	成人の歯周病予防 進行した歯周病に罹患している人の減少(割合) 40歳(35~44歳)	31%	25%以下	1999年県民歯科疾患実態調査	成人期	健康指標		1			
	15	成人の歯周病予防 進行した歯周病に罹患している人の減少(割合) 50歳(45~54歳)	42%	35%以下	1999年県民歯科疾患実態調査	成人期	健康指標		1			
	15	現在歯 自分の歯を有する人の増加(割合) 60歳(55~64歳)で24本以上	65%	75%以上	1999年県民歯科疾患実態調査「歯科保健アンケート調査」	成人期	健康指標		1	1		
	15	現在歯 自分の歯を有する人の増加(割合) 70歳(65~74歳)で20本以上	52%	60%以上	1999年県民歯科疾患実態調査「歯科保健アンケート調査」	成人期	健康指標			1		
	15	現在歯 自分の歯を有する人の増加(割合) 80歳(75~84歳)で20本以上	21%	30%以上	1999年県民歯科疾患実態調査「歯科保健アンケート調査」	高齢期	健康指標		1	1		
	15	フッ素の利用 フッ素を利用している人の増加 フッ素塗布を受けたことがある幼児の増加(割合) 1~4歳	52%	70%以上	1999年県民歯科疾患実態調査	乳幼児期	リスク低減		1			
	15	フッ素の利用 フッ素を利用している人の増加 フッ素洗口を行っている児童・生徒の増加(割合) 4~14歳	28%	40%以上	1999年度市町村歯科保健事業報告	乳幼児期	リスク低減					1
	15	フッ素の利用 フッ素を利用している人の増加 フッ素入り歯磨剤を使用している人の増加(割合)	71%	90%以上	1999年県民歯科疾患実態調査	学齢期	リスク低減					
	15	歯間部清掃 歯間部清掃用具を使用している人の増加(割合)	19%	40%以上	1999年県民歯科疾患実態調査	成人期	リスク低減		1			
	15	歯科医療機関の受診 精査・予防の勧奨等により児童・生徒が歯科医療機関を受診すること				学齢期	リスク低減					
	15	歯科医療機関の受診 定期的に歯石除去や歯面清掃を受けている人の増加(割合) 成人	4%	20%以上	1999年県民歯科疾患実態調査	成人期	リスク低減		1	1		
	15	生活習慣 歯・口腔の状態を定期的に自己観察すること				成人期	リスク低減					
	15	生活習慣 歯・口腔の健康に配慮した食生活を行うこと				成人期	リスク低減					
	15	生活習慣 喫煙しないこと				成人期	リスク低減					1
	15	寝たきり者・障害児(者)等への歯科保健サービスと歯科医療 寝たきり者・障害児(者)等への歯科保健サービスや歯科医療を受けること				障害者	リスク低減					
	15	前提要因 歯・口腔の機能の重要性について認識していること				成人期	リスク低減					
	15	前提要因 歯科疾患の原因・予防法について理解していること フッ素利用とシーラント処置の意義				成人期	リスク低減					
	15	前提要因 歯科疾患の原因・予防法について理解していること 歯間部清掃を軸とした口腔清掃の意義				成人期	リスク低減					
	15	前提要因 歯科疾患の原因・予防法について理解していること 喫煙が歯周組織に及ぼす害				成人期	リスク低減		1	1		
	15	強化要因 歯科保健指導を受けたことがある人の増加(割合) 歯みがき	47%	60%以上	1999年県民歯科疾患実態調査	学齢期	リスク低減		1			
	15	強化要因 歯科保健指導を受けたことがある人の増加(割合) 歯間部清掃用具	24%	40%以上	1999年県民歯科疾患実態調査	成人期	リスク低減					
	15	強化要因 歯科保健指導を受けたことがある人の増加(割合) フッ素入り歯磨剤	11%	40%以上	1999年県民歯科疾患実態調査	成人期	リスク低減		1			
	15	強化要因 歯科保健指導を受けたことがある人の増加(割合) 保健指導を体験し爽快感、満足等を得ること				成人期	リスク低減					
	15	強化要因 寝たきり者・障害児(者)等への歯科保健サービスと歯科医療 寝たきり者・障害児(者)等への歯科保健サービスと歯科医療を身近に感じたり体験したりすること				障害者	リスク低減					
	15	実現要因 市町村が公衆衛生的なフッ素利用の環境を整備すること 市町村におけるフッ素塗布・フッ素洗口の普及										1
	15	実現要因 市町村、学校、職域等で歯科健診・保健指導等を利用できる環境の整備 歯周疾患検診の実施市町村	5	111	2000年度保健事業費等国庫負担金交付申請							市町村
	15	実現要因 歯科医師、歯科衛生士による予防処置を受けられること 歯科医師、歯科衛生士の促進 フッ素塗布					リスク低減					
	15	実現要因 歯科医師、歯科衛生士による予防処置を受けられること 歯科医師、歯科衛生士の促進 シーラント処置					リスク低減					
	15	実現要因 歯科医師、歯科衛生士による予防処置を受けられること 歯科医師、歯科衛生士の促進 歯周疾患管理					リスク低減					
	15	実現要因 歯科医療機関における病診連携の促進					リスク低減					

(資料)

健康日本21地方計画「歯の健康」目標リスト(9/22)

都道府県	コード	目 標	現状	目標値	データ	ライフステージ	目標・リスク低減	国目標の有無	歯の喪失防止	喫煙	間食回数	フッ化物洗口
富山	16	3歳児でむし歯のない子の増加	69.1%	70%以上	2000年度母子保健事業実績	乳幼児期	健康指標	1				
	16	6歳児の永久歯一人平均むし歯本数の減少	0.14本	0本	2000年度学校保健統計のあらまし	学齢期	健康指標					
	16	12歳児の永久歯一人平均むし歯本数の減少	2.6本	1本	2000年度学校保健統計のあらまし	学齢期	健康指標	1				
	16	中学生(12~14歳児)でむし歯に症状のある人の減少(10~14歳でむし歯に症状のある者)	(35.9%)	20%以下	1999年県民歯科疾患実態調査	学齢期	健康指標					
	16	成人(35~54歳)で進行した歯周病の人の減少	36.9%	30%以下	1999年県民歯科疾患実態調査	成人期	健康指標	1				
	16	55~64歳で自分の歯を24本以上もつ人の増加	56.3%	60%以上	1999年県民歯科疾患実態調査	成人期	健康指標	1	1			
	16	80歳で自分の歯を20本以上もつ人の増加	23.3%	30%以上	1999年県民歯科疾患実態調査	高齢期	健康指標	1	1			
	16	1歳6か月で1日3回以上間食をする子の減少(1歳6か月児で間食時間を決めていない子)	(65.4%)	50%以下	2000年度母子保健事業実績	乳幼児期	リスク低減	1			1	
	16	3歳児でフッ素塗布を受けたことのある子の増加(1~4歳でフッ素塗布を受けたことのある子)	(41.4%)	50%以上	1999年県民歯科疾患実態調査	乳幼児期	リスク低減	1				
	16	5~14歳でフッ素配合歯磨剤を使用している人の増加	-	90%以上		学齢期	リスク低減	1				
	16	5~24歳で1年以内に個別的歯みがき指導を受けた人の増加	45.0%	60%以上	1999年県民歯科疾患実態調査	学齢期	リスク低減					
	16	35~54歳で歯間部清掃用器具を使用している人の増加	16.8%	30%以上	1999年県民歯科疾患実態調査	成人期	リスク低減	1				
	16	55~64歳で1年以内に歯石除去を受けた人の増加	15.4%	30%以上	1999年県民歯科疾患実態調査	成人期	リスク低減	1	1			
	16	55~64歳で1年以内に歯科健診を受けた人の増加		30%以上		成人期	リスク低減	1	1			
	16	喫煙と歯周病の関係を知っている人の増加	-	50%以上		成人期	リスク低減	1		1		
	16	禁煙支援プログラムを提供している市町村の増加	0市町村	全市町村	健康課調べ(1999年度実績)					1		
	16	フッ素塗布事業を実施している市町村の増加	25市町村	全市町村	健康課調べ(1999年度実績)							
	16	フッ素洗口を実施している学校等施設の増加	12.2%	100%	福利保健課及び健康課調べ(1998年度実績)		リスク低減					1
	16	個別的歯みがき指導を実施している中学校の増加(染め出し指導を実施している中学校)	(43.0%)	100%	福利保健課及び健康課調べ(1998年度実績)		リスク低減	1				
	16	老人保健事業の歯周疾患検診を実施している市町村の増加	1市町村	全市町村	健康課調べ(1999年度実績)							
石川	17	3歳児健康診査時のう歯罹患率	42.8%	30%	1997年度石川県公衆衛生のしおり	乳幼児期	健康指標	1				
	17	5~6歳児の第一大臼歯のう歯罹患率(萌出している第一大臼歯がう歯になっている率)	15.4%	5%	1999年度口腔保健衛生問題協議会資料	学齢期	健康指標					
	17	80歳で20歯以上自分の歯が残っている人の割合	今後調査	増加		高齢期	健康指標	1	1			
福井	18	5、6歳児のむし歯罹患率	86.2%	70%以下	1996年 県	乳幼児期	健康指標					
	18	12歳児の一人平均むし歯数	3.50本	3本以下	1996年 県	学齢期	健康指標	1				
	18	50歳の一人平均喪失歯数	4.87本	4本以下	1993年 国	成人期	健康指標					
	18	65歳以上で20歯以上ある者の割合	31.40%	40%以上	1993年 国	成人期	健康指標					
山梨	19	フッ化物歯面塗布を受けたことのある乳児の増加	19.50%	30%以上	1999年健康増進課調査	乳幼児期	リスク低減	1				
	19	間食として甜味食品・飲料を頻回摂取する習慣のある幼児の減少	2004年度設定予定	減らす		乳幼児期	リスク低減	1			1	
	19	フッ化物配合歯磨剤の使用の増加		90%以上		学齢期	リスク低減	1				
	19	個別的な歯口清掃指導を受ける人の増加		30%以上		学齢期	リスク低減	1				
	19	歯間部清掃用器具の使用の増加 40歳(35~44歳)	42.9%	60%以上	1999年県民意識調査	成人期	リスク低減	1				
	19	歯間部清掃用器具の使用の増加 50歳(45~54歳)	39.3%	60%以上	1999年県民意識調査	成人期	リスク低減	1				
	19	フッ素洗口をしている人の増加		増やす		学齢期	リスク低減					1
	19	定期的な歯石除去や歯面清掃を受ける人の増加	18.1%(20歳以上)	35%以上	1999年県民意識調査	成人期	リスク低減	1	1			
	19	定期的な歯科検診の受診者の増加	19.5%	35%以上	1999年県民意識調査	成人期	リスク低減	1	1			
	19	正しい歯磨きの方法を知っている人の増加		100%		成人期	リスク低減					
	19	喫煙が及ぼす健康影響についての十分な知識の普及				成人期	リスク低減	1		1		
	19	歯の健康に関する学習の場の増加		増やす		成人期	リスク低減					
	19	禁煙支援プログラムの普及				成人期	リスク低減					
	19	80歳で20歯以上、60歳で24歯以上自分の歯を有する人の増加80歳(75~84歳)で20歯以上	6.0%	15%以上	1998年歯科保健実態調査	高齢期	健康指標	1	1			
	19	80歳で20歯以上、60歳で24歯以上自分の歯を有する人の増加60歳(55~64歳)で24歯以上	34.4%	45%以上	1998年歯科保健実態調査	成人期	健康指標	1	1			
	19	う歯のない幼児の増加	50.80%	70%以上	1998年母子保健事業報告	乳幼児期	健康指標	1				
	19	一人平均う歯数の減少	3.47歯	2歯以下	1998年健康実態調査	学齢期	健康指標	1				
	19	進行した歯周炎の減少 40歳		3割り以上の減少		成人期	健康指標	1				
	19	進行した歯周炎の減少 50歳		3割り以上の減少		成人期	健康指標	1				

(資料)

健康日本21地方計画「歯の健康」目標リスト(10/22)

都道府県	現コード	目 標	現状	目標値	データ	ライフステージ	目標・リスク低減	国目標の有無	歯の喪失防止	喫煙	間食回数	フッ化物洗口
長野	20	3歳児におけるう歯のない幼児の割合の増加	63.6%	80.0%以上	1999年3歳児歯科健診診査結果	乳幼児期	健康指標	1				
	20	1歳6ヶ月児におけるう歯のない幼児の割合の増加	94.8%	97.0%以上	1999年1歳6ヶ月児歯科健診診査結果	乳幼児期	健康指標	1				
	20	3歳までにフッ化物歯面塗布を受けたことのある人の割合の増加	基準値無し(今後調査)	増加		乳幼児期	リスク低減	1				
	20	間食として甘味食品・飲料を1日3回以上飲食する習慣のある幼児の割合を減少	基準値無し(今後調査)	減少		乳幼児期	リスク低減	1			1	
	20	12歳児のう歯本数を減少	2.3本	1.0本以下	2000年学校保健統計調査	学齢期	健康指標	1				
	20	40歳、50歳で4mm以上の歯周ポケットを有している人の割合を減少 40歳	63.3%	3割以上の減少	1998年県民歯科保健実態調査	成人期	健康指標	1				
	20	40歳、50歳で4mm以上の歯周ポケットを有している人の割合を減少 50歳	76.2%	3割以上の減少	1998年県民歯科保健実態調査	成人期	健康指標	1				
	20	25歳～34歳の4mm以上の歯周ポケットを有している人の割合を減少 25～34歳	29.5%	1割以上の減少	1998年県民歯科保健実態調査	成人期	健康指標					
	20	80歳で自分の歯を20本以上有する人の増加	4.50%	20.0%以上	1998年県民歯科保健実態調査	高齢期	健康指標	1	1			
	20	60歳で自分の歯を24本以上有する人の増加	33.0%	50.0%以上	1998年県民歯科保健実態調査	成人期	健康指標	1	1			
	20	8020運動を知っている人の増加	31.4%	50.0%以上	1998年県民歯科保健実態調査	成人期	リスク低減					
	20	過去1年間に個別的歯口清掃指導を受けたことのある人の増加	今後調査	増加		学齢期	リスク低減	1				
	20	毎年定期的に歯石除去等を受ける人の増加 55～64歳	8.3%	30.0%以上	1998年県民歯科保健実態調査	成人期	リスク低減	1	1			
	20	かかりつけ歯科医を持つ人の増加	基準値無し	30.0%以上	1998年県民歯科保健実態調査	成人期	リスク低減					
	20	毎年定期的に歯科検診を受ける人の増加	12.6%	30.0%以上	1998年県民歯科保健実態調査	成人期	リスク低減	1	1			
	20	フッ化物配合歯磨剤を使用する人を増加する	41.9%	90.0%以上	1998年県民歯科保健実態調査	学齢期	リスク低減	1				
岐阜	21	う歯のない3歳児を増やす	70%	90%以上	1999年岐阜県母子保健統計	乳幼児期	健康指標	1				
	21	3歳児以前の歯の健康教育実施市町村数を増やす		増加		乳幼児期	市町村					
	21	12歳児の1人平均う歯数を減らす	2.6歯	1歯以下	2000年学校歯科保健統計	学齢期	健康指標	1				
	21	フッ化物洗口実施施設数を増やす	31施設	増加		学齢期	リスク低減					1
	21	成人の進行した歯周疾患を減らす 40歳	42.4%	30%以下	2000年成人歯科実態調査	成人期	健康指標	1				
	21	成人の進行した歯周疾患を減らす 50歳	56.5%	40%以下	2000年成人歯科実態調査	成人期	健康指標	1				
	21	歯や歯ぐきのセルフチェック実施者を増やす	49.1%	80%以上	2000年成人歯科実態調査	成人期	リスク低減					
	21	喫煙と歯周病の関係について知っている人	50.4%	100%	2000年成人歯科実態調査	成人期	リスク低減	1				
	21	80歳で自分の歯を20本保有者を増やす	27.6%	30%以上	2000年成人歯科実態調査	高齢期	健康指標	1	1			
	21	60歳で自分の歯を24本保有者を増やす	55.6%	65%以上	2000年成人歯科実態調査	成人期	健康指標	1	1			
	21	定期的な歯科検診受診者(高齢)を増やす	43.3%	60%以上	2000年成人歯科実態調査	成人期	リスク低減	1	1			
静岡	22	むし歯のある子どもの割合(1歳6か月児健診)	2.9%	0%	2000年度1歳6か月児・3歳児健康診査実施状況	乳幼児期	健康指標					
	22	むし歯のある子どもの割合(3歳児健診)	28.5%	20%以下	2000年度1歳6か月児・3歳児健康診査実施状況	乳幼児期	健康指標	1				
	22	甘いおやつを1日2回以上与えている保護者の割合(4歳児)	33.9%	減少	1995年県幼児歯科保健アンケート	乳幼児期	リスク低減	1			1	
	22	フッ素に関する知識を持つ保護者の割合(4歳児)	14.7%	増加	1995年県幼児歯科保健アンケート	乳幼児期	リスク低減					
	22	3歳までにフッ素ジェル歯ブラシと塗布法を受けたことのある子どもの割合(3歳)	52.3%	今後設定	1999年歯科疾患実態調査	乳幼児期	リスク低減	1				
	22	1人当たり平均むし歯本数(12歳)	2.4本	1本以下	2000年県学校歯科保健に関する調査	学齢期	健康指標	1				
	22	フッ素洗口法実施施設率	6.4%	増加	1997年フッ素洗口法実施施設調査	学齢期	リスク低減					1
	22	フッ素入り歯みがき剤を使用する児童の割合	データなし	今後設定		学齢期	リスク低減	1				
	22	昼食後の歯みがきの励行	データなし	今後設定		学齢期	リスク低減					
	22	フッ素入り歯みがき剤を使用する生徒の割合	データなし	今後設定		学齢期	リスク低減	1				
	22	9本以上むし歯のある生徒の割合(中学3年生)	9.1%	0%	2000年県学校歯科保健に関する調査	学齢期	リスク低減					
	22	昼食後の歯みがきの励行	データなし	今後設定		学齢期	リスク低減					
	22	歯肉炎のある生徒の割合	データなし	今後設定		学齢期	健康指標					
	22	フッ素入り歯みがき剤を使用する人の割合(男性)	20.0%	70%以上	1997年度県成人歯科調査	成人期	リスク低減					
	22	フッ素入り歯みがき剤を使用する人の割合(女性)	34.3%	70%以上	1997年度県成人歯科調査	成人期	リスク低減					
	22	定期歯科健診受診率(35～44歳)	14.4%	30%以上	1997年度県成人歯科調査	成人期	リスク低減	1	1			
	22	歯周病にかかっている人の割合(35～44歳)	40.4%	22%以下	1997年度県成人歯科調査	成人期	健康指標	1				
	22	歯間清掃器具の使用割合(45～64歳)	10.7%	50%以上	1997年度県成人歯科調査	成人期	リスク低減					
	22	歯周病にかかっている人の割合(45～64歳)	60.7%	33%以下	1997年度県成人歯科調査	成人期	健康指標	1				
	22	フッ素入り歯みがき剤を使用する人の割合	データなし	今後設定		成人期	リスク低減					
	22	歯が抜けたままで、入れ歯を使用していない人の割合	データなし	今後設定		高齢期	健康指標					
	22	80歳で20本以上自分の歯がある人の割合(75歳以上)	14.2%	20%以上	1997年度県成人歯科調査	高齢期	健康指標	1				

(資料)

健康日本21地方計画「歯の健康」目標リスト(11/22)

都道府県	コード	目 標	現状	目標値	データ	ライフステージ	目標・リスク低減	国目標の有無	歯の喪失防止	喫煙	間食回数	フッ化物洗口
愛知	23	むし歯のない幼児の増加 むし歯のない幼児の割合(3歳児)	68.5%	90%以上	1999年度愛知県「母子健康診査マニュアル報告」	乳幼児期	健康指標	1				
	23	1人平均むし歯数の減少 1人平均むし歯数(12歳)	2.7本	1本以下	1999年度愛知県歯科医師会「学校保健調査」	学齢期	健康指標	1				
	23	進行した歯周炎(GPIコード3以上)の減少 有する人の割合 40歳	21%	10%以下	1999年度保健所独自調査	成人期	健康指標	1				
	23	進行した歯周炎(GPIコード3以上)の減少 有する人の割合 50歳	32%	16%以下	1999年度保健所独自調査	成人期	健康指標	1				
	23	80歳で20本以上自分の歯を持つ人の増加 80歳で20本以上自分の歯を持つ人の割合	9.4%	32%以下	1998年度愛知県歯科医師会「8020データバンク事業」	高齢期	健康指標	1	1			
	23	フッ化物歯面塗布を受けたことのある幼児の増加 受けたことのある幼児の割合(2歳児)	52.8%	85%以上	1998年度愛知県「市町村歯科保健業務報告」	乳幼児期	リスク低減	1				
	23	甘味食品・飲料を頻回飲食する習慣のある幼児の減少 おやつ(回数)に問題がある幼児の割合	16%	8%以下	1999年度保健所独自調査「1歳6ヶ月児健診カルテ」	乳幼児期	リスク低減	1			1	
	23	甘味食品・飲料を頻回飲食する習慣のある幼児の減少 おやつ(内容)に問題がある幼児の割合	23%	12%以下	1999年度保健所独自調査「1歳6ヶ月児健診カルテ」	乳幼児期	リスク低減	1				
	23	甘味食品・飲料を頻回飲食する習慣のある幼児の減少 よく飲む飲み物に問題がある幼児の割合	39%	20%以下	1999年度保健所独自調査「1歳6ヶ月児健診カルテ」	乳幼児期	リスク低減	1				
	23	歯間部清掃用具の使用の増加 使用者の割合	16.0%	32%以上	2000年愛知県「生活習慣関連調査」	成人期	リスク低減	1				
	23	喫煙と歯周病の関わりについて知っている人の増加 知っている人の割合	16.2%	100%	2000年愛知県「生活習慣関連調査」	成人期	リスク低減	1		1		
	23	定期的な歯科の健康診査を受けている人の増加 定期的な歯科の健康診査を受けている人の割合	13.8%	27%以上	2000年愛知県「生活習慣関連調査」	成人期	リスク低減	1	1			
	23	かかりつけ歯科医を持つ人の増加 かかりつけ歯科医を持つ人の割合	47.1%	90%以上	2000年愛知県「生活習慣関連調査」	成人期	リスク低減	1				
	23	歯の健康づくり得点の増加 歯の健康づくり得点が16点以上の者の割合	28.0%	56%以上	2000年愛知県「生活習慣関連調査」	成人期	健康指標	1				
	23	8020運動を知っている人の増加 知っている人の割合	50.5%	100%	2000年愛知県「生活習慣関連調査」	成人期	リスク低減	1				
	23	集団フッ化物洗口を実施している小学校の増加 実施している小学校数	2校	200校以上	1998年3.31全国フッ素洗口実態調査報告	成人期	リスク低減	1				1
	23	禁煙支援プログラムの普及 禁煙支援プログラムが提供されている市町村の割合	10.3%	100%	2000年厚生労働省「喫煙対策実施状況調査(愛知県)」	成人期	市町村	1		1		
三重	24	う歯のない幼児(3歳)の増加	56.7%	78%以上	3歳児健康診査結果	乳幼児期	健康指標	1				
	24	学童期の一人平均う歯数の減少	3.44歯	1歯以下	三重県学校保健統計	学齢期	健康指標	1				
	24	進行した歯周炎の減少 35-44歳	20.8%	10%以下	1999年県民歯科疾患実態調査	成人期	健康指標	1				
	24	進行した歯周炎の減少 45-54歳	28.0%	14%以下	1999年県民歯科疾患実態調査	成人期	健康指標	1				
	24	20歯以上自分の歯を有する人の増加 60-64歳	50.0%	95%以上	1999年県民歯科疾患実態調査	成人期	健康指標	1	1			
	24	20歯以上自分の歯を有する人の増加 45-54歳	21.4%	43%以上	1999年県民歯科疾患実態調査	成人期	健康指標	1	1			
	24	歯ぐきをはれることがある人の減少	34.8%	12%以下	1999年県民意識調査	成人期	健康指標	1				
	24	歯がしみる人がいる人の減少	39.4%	20%以下	1999年県民意識調査	成人期	健康指標	1				
	24	歯の健康度得点16点以上	29.0%	73%以上	1999年県民意識調査	成人期	健康指標	1				
	24	酢ダコや古たくわんを噛むことができる人の増加	84.9%	95%以上	1999年県民意識調査	成人期	健康指標	1				
	24	フッ化物歯面塗布を受けたことがある幼児の増加	33.3%	67%以上	1999年県民歯科疾患実態調査	乳幼児期	リスク低減	1				
	24	定期的な歯科健診の受診者の増加	33.8%	68%以上	1999年県民意識調査	成人期	リスク低減	1	1			
	24	歯磨きを1日2回以上する人の増加	59.4%	95%以上	1999年県民意識調査	成人期	リスク低減	1				
	24	フッ化物配合歯磨き剤を使用する人の増加	31.7%	95%以上	1999年県民意識調査	学齢期	リスク低減	1				
	24	歯間部清掃用具を使用する人の増加	24.4%	73%以上	1999年県民歯科疾患実態調査	成人期	リスク低減	1				
	24	8020運動を知っている人の増加	45.5%	91%以上	1999年県民意識調査	成人期	リスク低減	1				
	24	かかりつけ歯科医がある人の増加	69.0%	95%以上	1999年県民意識調査	成人期	リスク低減	1				

(資料)

健康日本21地方計画「歯の健康」目標リスト(12/22)

都道府県	目標	現状	目標値	データ	ライフステージ	目標・リスク低減	国目標の有無	歯の喪失防止	喫煙	間食回数	フッ化物洗口
滋賀	25 3歳児の保護者で歯の治療に連れていくのが大変で困った人を減少させる	12%	5%以下	1999年	乳幼児期	QOL					
	25 3歳児でむし歯のない者の割合を増加させる	61.2%	80%以上	1999年	乳幼児期	健康指標	1				
	25 3歳児の一人平均むし歯数を減少させる	1.81本	1.0本以下	1999年	乳幼児期	健康指標					
	25 3歳児でむし歯を多く持っている児を減少させる	15.6%	10%以下	1999年	乳幼児期	健康指標					
	25 1日に3回以上おやつを食べる3歳児の割合を減少させる	13%	5%以下	1999年	乳幼児期	リスク低減	1			1	
	25 1歳3ヶ月以降まで哺乳ビンを使用していた割合を減少させる(3歳児)	22.9%	10%以下	1999年	乳幼児期	リスク低減					
	25 哺乳ビンの中に砂糖の入ったジュースやスポーツドリンク等を入れてのませている人の割合を減少させる(3歳児)	35.5%	20%以下	1999年	乳幼児期	リスク低減					
	25 定期的にフッ素塗布を受けている人の割合を増加させる(3歳児)	23%	40%以上	1999年	乳幼児期	リスク低減	1				
	25 保育所、幼稚園でのフッ素洗口実施施設を増加させる	8%	15%以上	1999年	乳幼児期	リスク低減					1
	25 すべての市町村において幼児歯科健診後のフォロー事業を実施する	19市町村	50市町村	1999年	乳幼児期	市町村					
	25 12歳児の永久歯一人平均むし歯数を減少させる(中学1年生)	2.79本	1.00本以下	1999年	学齢期	健康指標	1				
	25 12歳児で永久歯のむし歯のない者の割合を増加させる(中学1年生)	25%	50%以上	1999年	学齢期	健康指標					
	25 GO、GOと診断されたものの中で個別指導を実施している小学校の割合を増加させる	30%	70%以上	1999年	学齢期	健康指標					
	25 学童期におけるフッ素入り歯磨き剤使用者の割合を増加させる		90%以上		学齢期	リスク低減	1				
	25 フッ素洗口を実施している小学校数を増加させる	19校	100校以上	1999年	学齢期	リスク低減					1
	25 学校歯科健康診断の制度管理を向上させる				学齢期						
	25 地域の40歳代、50歳代で歯や歯ぐきの痛みのために食事に不自由を感じたことがある人の割合を減少させる(40歳代)	36.4%	20%以下	1999年	成人期	健康指標					
	25 地域の40歳代、50歳代で歯や歯ぐきの痛みのために食事に不自由を感じたことがある人の割合を減少させる(50歳代)	32.9%	20%以下	1999年	成人期	健康指標					
	25 地域の40歳代、50歳代で歯ぐきから出血する人の割合を減少させる(40歳代)	36.8%	20%以下	1999年	成人期	健康指標					
	25 地域の40歳代、50歳代で歯ぐきから出血する人の割合を減少させる(50歳代)	32.0%	20%以下	1999年	成人期	健康指標					
	25 60歳において、24本以上自分の歯を有する者の割合を増加させる	32.1%	50%以上	1999年	成人期	健康指標	1			1	
	25 地域の40歳代、50歳代で定期的に歯科健診を受ける人の割合を増加させる(40歳代)	7.0%	30%以上	1999年	成人期	リスク低減	1			1	
	25 地域の40歳代、50歳代で定期的に歯科健診を受ける人の割合を増加させる(50歳代)	8.5%	30%以上	1999年	成人期	リスク低減	1			1	
	25 地域の40歳代、50歳代でデンタルフロス(糸ようじ)や歯間ブラシ等の補助清掃用具を使用する人の割合を増加させる(40歳代)	28.8%	50%以上	1999年	成人期	リスク低減	1				
	25 地域の40歳代、50歳代でデンタルフロス(糸ようじ)や歯間ブラシ等の補助清掃用具を使用する人の割合を増加させる(50歳代)	26.0%	50%以上	1999年	成人期	リスク低減	1				
	25 地域の40歳代、50歳代でセルフチェックを実行している人の割合を増加させる(40歳代)	51.7%	70%以上	1999年	成人期	リスク低減					
	25 地域の40歳代、50歳代でセルフチェックを実行している人の割合を増加させる(50歳代)	48.4%	70%以上	1999年	成人期	リスク低減					
	25 40歳、50歳節目歯科健診を実施する市町村を増加させる	9市町村	50市町村	1999年	成人期	市町村					
	25 すべての市町村で母親歯科健診を実施する	19市町村	50市町村	1999年	成人期	市町村					
	25 40歳50歳における進行した歯周炎に罹患している者(4mm以上の歯周ポケットを有する者)の割合を低下させる				成人期	健康指標	1				
	25 一般事業所(従業員100人以上の事業所)での歯科健診実施割合を増加させる	28%	50%以上	1999年	成人期	リスク低減					
	25 すべての特別養護老人ホーム、養護老人ホームで定期歯科健診が実施される	25%	100%	1999年	高齢期	リスク低減					
	25 すべての寝たきり高齢者が必要な歯科医療をうけられる 歯科医師会各支部に1ヶ所以上相談窓口を設置する				成人期	リスク低減					
	25 すべての寝たきり高齢者が必要な歯科医療をうけられる 2005年には歯科医師会各支部に訪問歯科医療機をを設置する				高齢期	リスク低減					
	25 介護認定審査会への歯科医師の参加を促進する				高齢期						
	25 (障害者歯科保健)歯科健診を希望する施設すべてが歯科健診を実施できる	12%	100%	1999年	障害者	リスク低減					
	25 (障害者歯科保健)施設に追加、大所している障害者が定期的に歯科健診、保健指導およびフッ素塗布が受けられるよう				障害者	リスク低減					
	25 (障害者歯科保健)歯科医師のいる全ての市町村に障害者歯科保健医療相談医を設ける				障害者	市町村					

(資料)		健康日本21地方計画「歯の健康」目標リスト(13/22)										
都道府県	市町村	目 標	現状	目標値	データ	ライフステージ	目標・リスク低減	国目標の有無	歯の喪失防止	喫煙	間食回数	フッ化物洗口
京都	26	3歳児のむし歯保有児の割合	39.0%	20%未満	1998年京都府の歯科保健	乳幼児期	健康指標	1				
	26	12歳児のむし歯数	2.4本	1本以下	2000年学校保健統計調査 京都府	学齢期	健康指標	1				
	26	少年期のフッ化物入り歯磨剤を使用している者の割合	—	90%以上		学齢期	リスク低減	1				
	26	おやつ(乳幼児期)の時間を決めて食べている者の割合 男児	75.9%	100%	1998年府民健康づくり・栄養調査 京都府	乳幼児期	リスク低減					
	26	おやつ(乳幼児期)の時間を決めて食べている者の割合 女児	74.0%	100%	1998年府民健康づくり・栄養調査 京都府	乳幼児期	リスク低減					
	26	おやつ(乳幼児期)の量を決めて食べている者の割合 男子	82.0%	100%	1998年府民健康づくり・栄養調査 京都府	乳幼児期	リスク低減					
	26	おやつ(乳幼児期)の量を決めて食べている者の割合 女子	80.5%	100%	1998年府民健康づくり・栄養調査 京都府	乳幼児期	リスク低減					
	26	間食(少年期)の時間を決めて食べている者の割合 男子	41.5%	75%	1998年府民健康づくり・栄養調査 京都府	学齢期	リスク低減					
	26	間食(少年期)の時間を決めて食べている者の割合 女子	42.3%	75%	1998年府民健康づくり・栄養調査 京都府	学齢期	リスク低減					
	26	間食(少年期)の量を決めて食べている者の割合 男子	49.8%	75%	1998年府民健康づくり・栄養調査 京都府	学齢期	リスク低減					
	26	間食(少年期)の量を決めて食べている者の割合 女子	52.0%	75%	1998年府民健康づくり・栄養調査 京都府	学齢期	リスク低減					
	26	20～64歳で過去1年間に正しい歯磨きの仕方について指導を受けた者の割合	32.1%	50%以上	2000年府民歯科保健実態調査 京都府	成人期	リスク低減					
	26	20歳以上で歯間清掃補助用具を使用している者の割合	48.0%	60%以上	2000年府民歯科保健実態調査 京都府	成人期	リスク低減	1				
	26	20歳以上で定期的に歯科健診を受けている者の割合	21.5%	30%以上	2000年府民歯科保健実態調査 京都府	成人期	リスク低減	1	1			
	26	60歳代で24本以上の歯を有している者の割合	46.0%	50%以上	2000年府民歯科保健実態調査 京都府	成人期	健康指標	1	1			
	26	50歳代で歯肉に所見を有する者の割合	87.9%	60%以下	2000年府民歯科保健実態調査 京都府	成人期	健康指標					
	26	壮年期で歯間清掃補助用具を使用している者の割合	49.7%	60%以上	2000年府民歯科保健実態調査 京都府	成人期	リスク低減	1				
大阪	27	う歯のない幼児の割合 1歳6か月児	96.6%	98%以上	1歳6か月児歯科健康診査 大阪府	乳幼児期	健康指標	1				
	27	う歯のない幼児の割合 3歳児	61.7%	80%以上	1999年3歳児歯科健康診査 大阪府	乳幼児期	健康指標	1				
	27	フッ化物歯面塗布を受けたことのある幼児の割合	39.6%	50%以上	1993年歯科疾患実態調査 国	乳幼児期	リスク低減	1				
	27	間食として甘味食品、飲料を頻回飲食する習慣のある幼児の割合	39.2%	—	1998年1歳6か月児歯科健康診査 大阪府	乳幼児期	リスク低減	1			1	
	27	一人平均う歯数 12歳	2.8歯	1歯以下	1999年学校保健統計調査 大阪府	学齢期	健康指標	1				
	27	フッ化物配合歯磨剤を使用している人の割合	45.6%	90%以上	荒川ら 国基準	学齢期	リスク低減	1				
	27	個別的な歯口清掃指導を過去1年間に受けたことのある人の割合	12.8%	30%以上	1993年保健福祉動向調査 国	学齢期	リスク低減	1				
	27	進行した歯周炎を有する人の割合 40歳	32.0%	22%以下	1997-8年富士宮市データ 国基準	成人期	健康指標	1				
	27	進行した歯周炎を有する人の割合 50歳	46.9%	33%以下	1997-8年富士宮市データ 国基準	成人期	健康指標	1				
	27	歯間部糸清掃用器具を使用する人の割合 40歳(35～44歳)	19.3%	50%以上	1993年保健福祉動向調査 国	成人期	リスク低減	1				
	27	歯間部糸清掃用器具を使用する人の割合 50歳(45～54歳)	17.8%	50%以上	1993年保健福祉動向調査 国	成人期	リスク低減	1				
	27	喫煙が及ぼす健康影響についての十分な知識の普及 歯周病	27.3%	100%	1998年喫煙と健康に関する実態調査 国	成人期	リスク低減	1		1		
	27	禁煙支援プログラムの普及 禁煙支援プログラムが提供されている市町村の割合	6.8%	100%	2004年に達成	成人期	市町村	1		1		
	27	80歳で20歯以上自分の歯を有する人の割合	15.3%	20%以上	1993年歯科疾患実態調査 国	高齢期	健康指標	1	1			
	27	60歳で24歯以上自分の歯を有する人の割合	44.1%	50%以上	1993年歯科疾患実態調査 国	成人期	健康指標	1	1			
	27	定期的な歯石除去や歯面清掃を過去1年間に受ける人の割合	15.9%	30%以上	1992年寝屋川市調査 国=大阪府	成人期	リスク低減	1	1			
	27	定期的な歯科検診を過去1年間に受けた人の割合 60歳(55～64歳)	16.4%	30%以上	1993年保健福祉動向調査 国	成人期	リスク低減	1	1			
	27	多量(一日平均3合以上)飲酒者の割合 男性	9.90%	4.1%以下		成人期	リスク低減					
	27	多量(一日平均3合以上)飲酒者の割合 女性	0.60%	0.2%以下		成人期	リスク低減					

(資料)

健康日本21地方計画「歯の健康」目標リスト(14/22)

都道府県	目標	現状	目標値	データ	ライフステージ	目標・リスク低減	国目標の有無	歯の喪失防止	喫煙	間食回数	フッ化物洗口
兵庫	28 う歯のない幼児の増加 (3歳児)	70.6%	80%以上	県:1999年度3歳児歯科健康結果保健実態調査	乳幼児期	健康指標	1				
	28 フッ化物歯面塗布を受けたことのある幼児の増加 (3歳児)	42.0%	50%以上	国:1999年保健福祉動向調査	乳幼児期	リスク低減	1				
	28 間食として甘味食品・飲料を頻回飲食する習慣のある幼児の減少 (1歳6か月児)	29.9%	今後設定	参考値:久保田らによる調査(国:2000年度に調査予定)	乳幼児期	リスク低減	1			1	
	28 一人平均う歯数の減少 (12歳)	2.7歯	1歯以下	県:1999年度兵庫県健康福祉部調べ	学齢期	健康指標	1				
	28 フッ化物配合歯磨剤の使用者の増加	13.9%	90%以上	県:1997年度地域歯科保健実態調査	学齢期	リスク低減	1				
	28 個別的な歯口清掃指導を受ける人の増加	19.7%	30%以上	参考値:国:1999年保健福祉動向調査	学齢期	リスク低減	1				
	28 進化した歯周炎の減少 (40歳)	32.0%	22%以下	参考値:1997年~1998年富士宮市モデル事業報告	成人期	健康指標	1				
	28 進化した歯周炎の減少 (50歳)	46.9%	33%以下	参考値:1997年~1998年富士宮市モデル事業報告	成人期	健康指標	1				
	28 歯間部清掃用具の使用者の増加 (40歳)	32.6%	50%以上	国:1999年保健福祉動向調査	成人期	リスク低減	1				
	28 歯間部清掃用具の使用者の増加 (50歳)	29.3%	50%以上	国:1999年保健福祉動向調査	成人期	リスク低減	1				
	28 喫煙が及ぼす健康影響についての十分な知識の普及				成人期	リスク低減	1		1		
	28 禁煙支援プログラムの普及				成人期	リスク低減	1		1		
	28 80歳で20歯以上、60歳で24歯以上の自分の歯を有する人の増加 80歳(75~84歳)で20歯以上	11.5%	20%以上	国:1993年歯科疾患実態調査	高齢期	健康指標	1	1			
	28 80歳で20歯以上、60歳で24歯以上の自分の歯を有する人の増加 60歳(55~64歳)で24歯以上	44.1%	50%以上	国:1993年歯科疾患実態調査	成人期	健康指標	1	1			
	28 定期的な歯石除去や歯面清掃を受ける人の増加 60歳(55~64歳)	20.6%	30%以上	県:1997年度地域歯科保健実態調査	成人期	リスク低減	1	1			
	28 定期的な歯科検診の受診者の増加 60歳(55~64歳)	18.6%	30%以上	国:1999年保健福祉動向調査	成人期	リスク低減	1	1			
奈良	29 普段から歯の健康に注意している人の割合の増加	49.8%	80%以上	1996年度健康県民健康調査	成人期	リスク低減					
	29 歯間部清掃器具を使用する人の割合の増加	31.9%	50%以上	2000年度県民健康調査	成人期	リスク低減	1				
	29 過去1年以内に歯の健康診断を受けたことがある人の割合の増加	44.1%	80%以上		成人期	リスク低減	1	1			
	29 3歳児におけるう歯有病者率の低下	39.7%	20%以下	1999年度3歳児健康診査結果	乳幼児期	健康指標	1				
	29 12歳児における1人平均う歯数の減少	2.9本	1本以下	全国調査	学齢期	健康指標	1				
	29 乳幼児に対するフッ素塗布事業実施市町村数の増加	4市町村	47市町村		乳幼児期	市町村					
	29 歯周疾患検診実施市町村数の増加	14市町村	47市町村		成人期	市町村					
和歌山	30 3歳児におけるう歯のない者の割合の増加	53.7%	70%以上	1998年度3歳児歯科健康診査結果	乳幼児期						
	30 3歳児の1人平均う歯数を半減させる	2.1歯	1歯以下	1998年度3歳児歯科健康診査結果	乳幼児期						
	30 3歳までにフッ化物を用いた予防処置を受けたことのある者の増加	39.6%	50%以上	1993年歯科疾患実態調査	乳幼児期	リスク低減	1				
	30 間食として砂糖を含む食品・飲料を1日3回以上飲食する習慣をもつ者の割合の把握と減少	29.9%		1991年久保田らによる調査	乳幼児期	リスク低減	1			1	
	30 12歳児における1人平均う歯数(DMFT歯数)の減少	2.9歯	1歯以下	1999年度学校保健統計調査	学齢期	健康指標	1				
	30 学童期におけるフッ化物配合歯磨剤または洗口剤使用者の割合の増加	45.60%	90%以上	1991年荒川らの調査	学齢期	リスク低減	1				1
	30 学齢期において過去1年間に個別的な歯口清掃指導を受けたことのある者の割合の増加	18.30%	30%以上	1999年保健福祉動向調査	学齢期	リスク低減	1				
	30 40、50歳における進行した歯周炎に罹患している者(4mm以上の歯周ポケットを有する者)の割合の減少 40歳代	56%	3割以上の減少	1999年和歌山県歯周病検診推進モデル事業結果	成人期	健康指標	1				
	30 40、50歳における進行した歯周炎に罹患している者(5mm以上の歯周ポケットを有する者)の割合の減少 50歳代	73%	3割以上の減少	1999年和歌山県歯周病検診推進モデル事業結果	成人期	健康指標	1				
	30 80歳における20歯以上の自分の歯を有する者の割合及び60歳における24歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加 20歳以上の自分の歯を有する者の割合(75~84歳)	11.5%	20%以上	1993年歯科疾患実態調査	高齢期	健康指標	1	1			
	30 80歳における24歯以上の自分の歯を有する者の割合及び60歳における24歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加 24歯以上の自分の歯を有する者の割合(55~64歳)	44.1%	50%以上	1993年歯科疾患実態調査	成人期	健康指標	1	1			
	30 定期的な歯石除去や歯面清掃を受けている者の割合の増加	8.3%	30%以上	1999年和歌山県歯周病検診推進モデル事業結果	成人期	リスク低減	1	1			
	30 40、50歳における歯間清掃用具を使用している者の割合の増加 デンタルフロスを使用している者の割合(40歳代)	12.2%	50%以上	1999年和歌山県歯周病検診推進モデル事業結果	成人期	リスク低減	1				
	30 40、50歳における歯間清掃用具を使用している者の割合の増加 デンタルフロスを使用している者の割合(50歳代)	10.4%	50%以上	1999年和歌山県歯周病検診推進モデル事業結果	成人期	リスク低減	1				
	30 40、50歳における歯間清掃用具を使用している者の割合の増加 歯間ブラシを使用している者の割合(40歳代)	8.6%	50%以上	1999年和歌山県歯周病検診推進モデル事業結果	成人期	リスク低減	1				
	30 40、50歳における歯間清掃用具を使用している者の割合の増加 歯間ブラシを使用している者の割合(50歳代)	6.1%	50%以上	1999年和歌山県歯周病検診推進モデル事業結果	成人期	リスク低減	1				
	30 定期的な歯科検診を受けている者の割合の増加	5.9%	30%以上		成人期	リスク低減	1	1			
	30 喫煙が及ぼす健康影響についての知識の普及 歯周病	27.3%		1998年度喫煙と健康に関する実態調査 国	成人期	リスク低減	1		1		

(資料)

健康日本21地方計画「歯の健康」目標リスト(15/22)

都道府県	県コード	目 標	現状	目標値	データ	ライフステージ	目標・リスク低減	国目標の有無	歯の喪失防止	喫煙	間食回数	フッ化物洗口
鳥取	31	自分の歯を有する者の割合 80歳代で20歯以上	22.2%	30%以上		高齢期	健康指標		1			
	31	自分の歯を有する者の割合 60歳代で24歯以上	48.5%	55%以上		成人期	健康指標		1			
	31	自分の歯を有する者の割合 50歳代で25歯以上	69.0%	75%以上		成人期	健康指標					
	31	自分の歯を有する者の割合 30歳代で25歯以上	74.9%	80%以上		成人期	健康指標					
	31	う歯のない者の割合 1歳6か月児	96.3%	100%		乳幼児期	健康指標					
	31	う歯のない者の割合 3歳児	65.3%	85%以上		乳幼児期	健康指標		1			
	31	むし歯罹患率率 小学生	82.5%	65%以下		学齢期	健康指標					
	31	むし歯罹患率率 中学生	84.7%	70%以下		学齢期	健康指標					
	31	むし歯罹患率率 高校生	91.3%	85%以下		学齢期	健康指標					
	31	12歳児における1人平均う歯数(DMF歯数)	2.4歯	1歯以下		学齢期	健康指標		1			
	31	40、50歳代における進行した歯周炎に罹患している者(4mm以上の歯周ポケットを有する者)の割合 40歳代	31.2%	20%以下		成人期	健康指標		1			
	31	40、50歳代における進行した歯周炎に罹患している者(4mm以上の歯周ポケットを有する者)の割合 50歳代	46.5%	30%以下		成人期	健康指標		1			
	31	定期的に歯石除去や歯面清掃を受けている者の割合	6.47%	30%以上		成人期	リスク低減		1		1	
	31	定期的に歯科健診を受けている者の割合	8.27%	30%以上		成人期	リスク低減		1		1	
	31	間食として甘味食品・飲料を1日3回以上飲食する習慣を持つ者の割合	8.7%	減らす		乳幼児期	リスク低減		1			1
	31	子どもの仕上げ磨きを毎日する保護者		増やす		乳幼児期	リスク低減					
	31	3歳までにフッ化物歯面塗布を受けたことがある者の割合	16.2%	50%以上		乳幼児期	リスク低減		1			
	31	フッ化物配合歯磨剤の使用者の割合		90%以上		学齢期	リスク低減		1			
	31	過去1年間に個別的歯口清掃指導を受けたことのある者の割合	6.01%	30%以上		学齢期	リスク低減		1			
	31	30、40、50歳代における歯間清掃用器具を使用している者の割合 デンタルフロス 30歳代	26.7%	50%以上		成人期	リスク低減					
	31	30、40、50歳代における歯間清掃用器具を使用している者の割合 デンタルフロス 40歳代	17.1%	50%以上		成人期	リスク低減		1			
	31	30、40、50歳代における歯間清掃用器具を使用している者の割合 デンタルフロス 50歳代	12.4%	50%以上		成人期	リスク低減		1			
	31	30、40、50歳代における歯間清掃用器具を使用している者の割合 歯間ブラシ 30歳代	11.2%	50%以上		成人期	リスク低減					
	31	30、40、50歳代における歯間清掃用器具を使用している者の割合 歯間ブラシ 40歳代	17.8%	50%以上		成人期	リスク低減		1			
	31	30、40、50歳代における歯間清掃用器具を使用している者の割合 歯間ブラシ 50歳代	19.8%	50%以上		成人期	リスク低減		1			
	31	歯科健診や歯科治療を受ける歯科医(かかりつけ歯科医)を決めている者		増やす		成人期	リスク低減					
	31	定期的な歯科健診、フッ素塗布、保護者に対する歯科保健教育を実施する市町村	17市町村	39市町村		乳幼児期	市町村					
	31	年2回歯科健診を実施している学校の増加(GO、GO所有者に対する再検査を含む)		増やす		学齢期	リスク低減					
	31	CO、GOの者へ個別指導を実施している学校		増やす		学齢期	リスク低減					
	31	保護者に対する歯科保健教育を実施する学校		増やす		成人期	リスク低減					
	31	ふしめ歯科健診の実施市町村	10市町村	39市町村		成人期	市町村					
島根	32	むし歯予防のため、フッ化物を利用する人の割合を増やす				乳幼児期	リスク低減		1			
	32	食事をしっかりと噛む子の割合を増やす				乳幼児期	リスク低減					
	32	歯周患者予防のために定期的に専門家による歯口清掃を受ける人の割合を増やす				学齢期	リスク低減		1			
	32	一人平均のむし歯の本数 1歳6か月児	0.5本	0本	1997年1歳6か月健康診査	乳幼児期	健康指標					
	32	一人平均のむし歯の本数 3歳児	1.9本	1本以下	1997年3歳児健康診査	乳幼児期	健康指標					
	32	一人平均のむし歯の本数 12歳児	2.97本	2本以下	1997年学校保健統計	学齢期	健康指標		1			
	32	一人平均のむし歯の本数 30歳	12.2本	7本以下	1999年8020チャレンジ事業	成人期	健康指標					
	32	3歳児のむし歯有病率を低下させる	39.9%	30%	1997年3歳児健康診査	乳幼児期	健康指標		1			
	32	残存歯数 40歳	27本	27本以上	1999年健康栄養調査	成人期	健康指標					
	32	残存歯数 60歳	15本	22本以上	1999年健康栄養調査	成人期	健康指標		1		1	
	32	残存歯数 70歳	9本	15本以上	1999年健康栄養調査	成人期	健康指標					
	32	残存歯数 80歳	1.9本	12本以上	1990年成人保健歯科調査	成人期	健康指標		1		1	

(資料)

健康日本21地方計画「歯の健康」目標リスト(16/22)

都道府県	市町村	目 標	現状	目標値	データ	ライフステージ	目標・リスク低減	国目標の有無	歯の喪失防止	喫煙	間食回数	フッ化物洗口
岡山	33	1歳6か月児のむし歯有病者率の減少	3.3%	2%以下	1999年度岡山県の母子保健	乳幼児期	健康指標					
	33	2歳児のう蝕有病者率の減少	15.2%	10%以下	1999年度岡山県の母子保健	乳幼児期	健康指標					
	33	3歳児のう蝕有病者率の減少	38.5%	30%以下	1999年度岡山県の母子保健	乳幼児期	健康指標	1				
	33	5歳児のむし歯有病者率の減少	69.5%	50%以下	1999年度学校保健概要	乳幼児期	健康指標					
	33	フッ化物配合歯磨剤を使用する者の割合の増加	75.6%	90%以上	1999年度県民健康調査	学齢期	リスク低減	1				
	33	フッ素塗布経験者の割合の増加	32.0%	50%以上	1999年度岡山県歯科疾患実態調査	乳幼児期	リスク低減	1				
	33	間食回数が2回/日以下の者の割合の増加	41.5%	70%以上	1999年度県民健康調査	乳幼児期	リスク低減	1			1	
	33	市町村における2歳児歯科健診実施率の増加	80.8%	100%	1999年度岡山県の母子保健	乳幼児期	市町村					
	33	小学生のう蝕有病者率の減少	54.3%	30%以下	1999年度学校保健概要	学齢期	健康指標					
	33	中学生のう蝕有病者率の減少	83.1%	50%以下	1999年度学校保健概要	学齢期	健康指標					
	33	12歳児の一人平均う歯数(DMF歯数)の減少	2.6歯	1歯以下	1999年度学校保健概要	学齢期	健康指標	1				
	33	15歳児の一人平均う歯数の減少	4.6歯	3歯以下	1999年度学校保健概要	学齢期	健康指標					
	33	歯口清掃指導を受けた者の割合の増加	4.00%	60%以上	1999年度地域保健推進特別事業	学齢期	リスク低減	1				
	33	40代で進行した歯周炎をもつ者の割合の減少 (CPIコード3、4)	45.8%	20%以下	1999年度岡山県歯科疾患実態調査	成人期	健康指標	1				
	33	歯間清掃補助具を使用する者の割合の増加	35.3%	50%以上	1999年度県民健康調査	成人期	リスク低減	1				
	33	専門的なブラッシング指導を受けた者の割合の増加	47.3%	60%以上	1999年度県民健康調査	成人期	リスク低減					
	33	相談できる歯科医をもっている者の割合の増加	45.0%	80%以上	1999年度県民健康調査	成人期	リスク低減					
	33	定期健診を受ける者の割合の増加	32.8%	50%以上	1999年度県民健康調査	成人期	リスク低減	1	1			
	33	節目検診等の市町村成人歯科健診実施率の増加	28.2%	50%以上	1999年度老人保健事業実績報告	成人期	市町村					
	33	フッ化物配合歯磨剤の使用率の増加	36.8%	50%以上	1999年度県民健康調査	学齢期	リスク低減	1				
	33	60歳で24歯以上もつ者の割合の増加	20.5%	40%以上	1999年度岡山県歯科疾患実態調査	成人期	健康指標	1	1			
	33	60歳代で自分の歯を20歯以上もつ者の割合の増加	43.8%	60%以上	1999年度岡山県歯科疾患実態調査	成人期	健康指標					
	33	60歳代で進行した歯周炎をもつ者の割合の減少 (CPIコード3、4)	54.7%	30%以下	1999年度岡山県歯科疾患実態調査	成人期	健康指標					
	33	70歳代で自分の歯を20歯以上もつ者の割合の増加	27.0%	40%以上	1999年度岡山県歯科疾患実態調査	高齢期	健康指標					
	33	8020達成者の割合の増加	8.7%	20%以上	1999年度岡山県歯科疾患実態調査	高齢期	健康指標	1	1			
	33	歯の健康に関する情報提供の機会を増やす		増加		成人期	リスク低減					
	33	歯の健康に関する学習の機会を増やす		増加		成人期	リスク低減					
広島	34	80歳における20本以上の自分の歯を有する人の割合 75～84歳	36.2%	40%以上	2000年度広島県歯科保健実態調査	高齢期	健康指標	1	1			
	34	12歳児における1人平均う歯数	2.2本	1本以下	2000年度学校歯科保健調査	学齢期	健康指標	1				
	34	40歳、50歳における進行した歯周疾患に罹患している人の割合 40歳 (35～44歳)	37.3%	30%以下	2000年度広島県歯科保健実態調査	成人期	健康指標	1				
	34	40歳、50歳における進行した歯周疾患に罹患している人の割合 50歳 (45～54歳)	54.2%	40%以下	2000年度広島県歯科保健実態調査	成人期	健康指標	1				
	34	60歳における24本以上の自分の歯を有する人の割合 55～64歳	62.3%	70%以上	2000年度広島県歯科保健実態調査	成人期	健康指標	1	1			
	34	3歳児におけるう蝕のない子どもの割合	67.1%	80%以上	1999年度3歳児歯科健康診査	乳幼児期	健康指標	1				
	34	3歳までにフッ化物歯面塗布を受けたことのある子どもの割合	—	50%以上		乳幼児期	リスク低減	1				
	34	間食として甘味食品・飲料を1日3回以上飲食する習慣を持つ子どもの割合	—	減少させる		乳幼児期	リスク低減	1			1	
	34	学齢期におけるフッ化物配合歯磨剤を使用している人の割合 15～24歳	35.3%	90%以上	2000年度県民健康意識調査	学齢期	リスク低減	1				
	34	学齢期において過去1年間に歯みがきの個人指導を受けたことのある人の割合 15～24歳	21.1%	30%以上	2000年度県民健康意識調査	学齢期	リスク低減	1				
	34	学齢期においてフッ化物洗口を実施している人の割合	—	増加させる		学齢期	リスク低減					1
	34	定期的に歯科健診を受けている人の割合 55～64歳	59.6%	70%以上	2000年度県民健康意識調査	成人期	リスク低減	1	1			
	34	定期的に歯石除去を受けている人の割合 55～64歳	44.9%	50%以上	2000年度県民健康意識調査	成人期	リスク低減	1	1			
	34	定期的に歯みがきの個人指導を受けている人の割合 45～54歳	28.1%	40%以上	2000年度県民健康意識調査	成人期	リスク低減					
	34	40歳、50歳における歯間部清掃用器具を使用している人の割合 40歳 (35～44歳)	32.5%	50%以上	2000年度県民健康意識調査	成人期	リスク低減	1				
	34	40歳、50歳における歯間部清掃用器具を使用している人の割合 50歳 (45～54歳)	33.6%	50%以上	2000年度県民健康意識調査	成人期	リスク低減	1				